

＜第11回「第2のふるさとづくりプロジェクト」に関する有識者会議＞
令和7年度 採択事業者による今年度の取組紹介

令和7年11月14日(金)

第2のふるさと
A NEW HOMETOWN

地域名 福島県二本松市

事業者名 一般社団法人岳温泉観光協会



< 火山とともに生きる湯のまちから、
歩いてつなぐ長く歩く道づくり >



第2のふるさと

A NEW HOMETOWN

岳温泉を拠点とした“歩く”を通じた関係人口づくり

拠点：安達太良・吾妻自然センター（岳温泉）

フィールド：磐梯・吾妻・安達太良ボルケーノトレイル®

高湯温泉から岳温泉を山間部と繋いだ72キロの

ロングトレイル（火山と温泉地を繋いだ新しいトレイル）

ターゲット：ロングディスタンスハイカー

目的：

- 登山・温泉・保全を結ぶ“歩く体験”による滞在と再来訪促進
- 宿泊・交流を伴う「長く歩く・長く関わる旅」モデルの確立

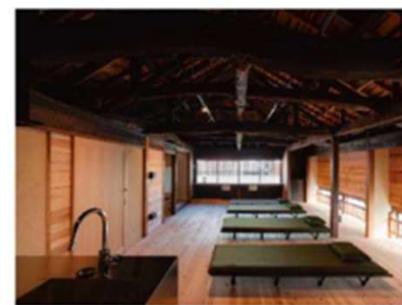
背景課題：

- 登山者は多いが日帰り型中心
- 温泉と山（湯守文化・8km引き湯）のつながりが構成が弱い

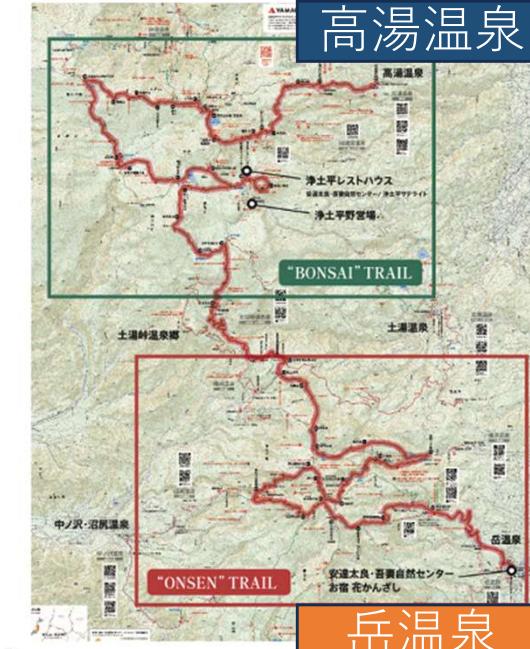
公式サイト：<https://www.adatara-azuma.com/>



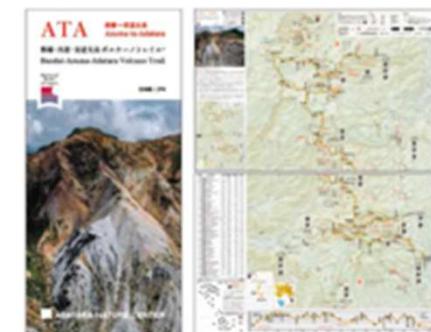
歩く人が訪れる場所づくり



歩く人が泊まりやすい環境づくり



岳温泉



歩く人を増やす動線づくり 3

トレイル×自然センター×温泉×コミュニティによる相乗効果

自然センター (ANC) の役割：戻れる場所づくり

- ・ボルケーノトレイルを味わえるプログラム（100名以上）
- トレイルのゴール地点として報告・交流の場
→岳温泉へ新しいファンづくり **登山から山旅へ**
- ハブであるANCによる情報・イベント・地域発信



y.tanaka1983 - フォロー
y.tanaka1983 VOLCANO! @minohiro_yokoyama_ch
@tanakayu
Hirata25 搞まって下さい
宋国君 「いいね！」 1件 1
maya.mitsuo10 搞まって下さい
宋国君 「いいね！」 1件 1
wujingyang219 搞まって下さい
宋国君 「いいね！」 1件 1
7月16日
#ikikonehei 他4554人が
いいね

コミュニティ形成：関わりしろを作る

- ・関わった人同士の再訪の仕組み（自然活用と保全の循環）
- 登山道整備・保全活動の拠点化（再来訪）
- 体験者SNS発信→再訪→ボランティアへの参加の循環

多様なプログラム

インフルエンサー的選手
の発信/4000いいね以上



企業・関連団体連携：

- パタゴニア仙台イベント、親子山旅など新層開拓
→企業や団体の視察訪問の増加している



パタゴニア仙台イベント

親子山旅

視察プログラム



歩いた人による発信による**自発的**
情報発信増加

歩くきっかけを増やす新しい仕組みとサービス

ターゲットを絞ったアプローチPR（専門誌活用）



アクセス支援：ツアーに依存しない歩く人を増やす

- 登山口送迎サービス・料金目安表示・情報集約
- タクシー会社連携や荷物配送のテスト

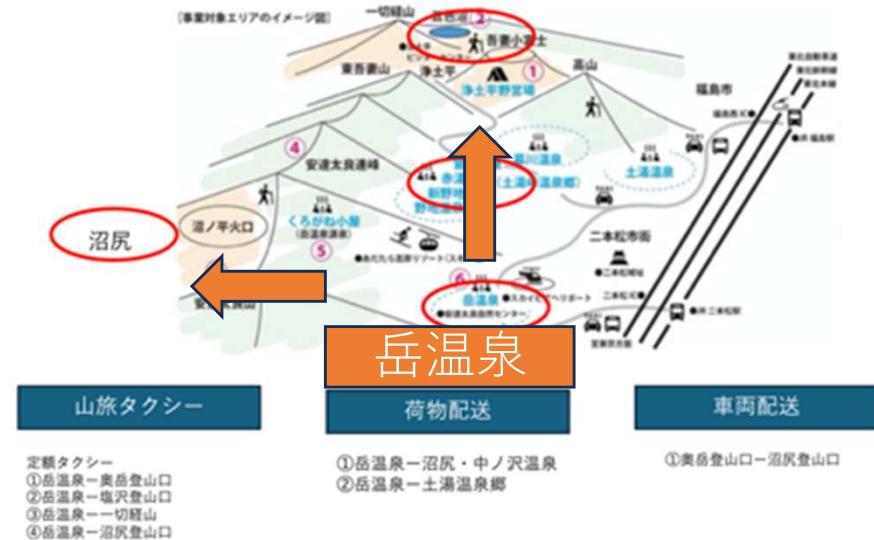
温泉・宿泊提案（泊まった方が楽しめるという視点）

- 山旅参加者への温泉付きイベントやツアー拡充
- 個人でも参加しやすい簡易宿泊プラン
- 温泉地が旅のスタートとゴールポイント

チャレンジ支援

- 踏破チャレンジ登録・スタンプ帳・記念品
- 来年ツアーに向けたトレーニングプラン
- 歩くだけでなく、サイクリングと組み合わせたプラン
- ボランティアとしての活動の場づくり

■安達太良・吾妻 山旅タクシーとトラベルサービス充填に向けて



人が集まり出したポイント

- ①集客より歩く人の応援を強化
- ②出番と役割の創出（誰かの応援）
保全やボランティア参加
- ③参加者同士の仲間づくり

歩く人がつながる自然の活用と保全の“循環する地域”へ

来訪（再来訪）

- ・週末を中心にボルケーノトレイルチャレンジする人が増加
(ツアー・イベントではない来訪のスタイル増加)
- SNS発信→来訪→報告→地域滞在→再発信・再来訪の循環が定着
- 体験者からの情報伝達で他の人の来訪の動きが出ている



持続可能な活動に向けて

- LNT Level1研修で地域ガイドネットワーク形成
- 自然の活用と保全をセットにするマインドセット
- ・活火山の恵みの温泉を感じる源泉ツアーの地域受け入れ環境整備



LNT研修（リーダー育成）

登山道整備

源泉ツアー

課題：地域の関係者をもっと増やし、巻き込み力を上げる
(DMOと受け入れ環境連携はスタート)

地域名 千葉県 南房総市（岩井地区）・鋸南町
事業者名 BOSO WEST COAST協議会

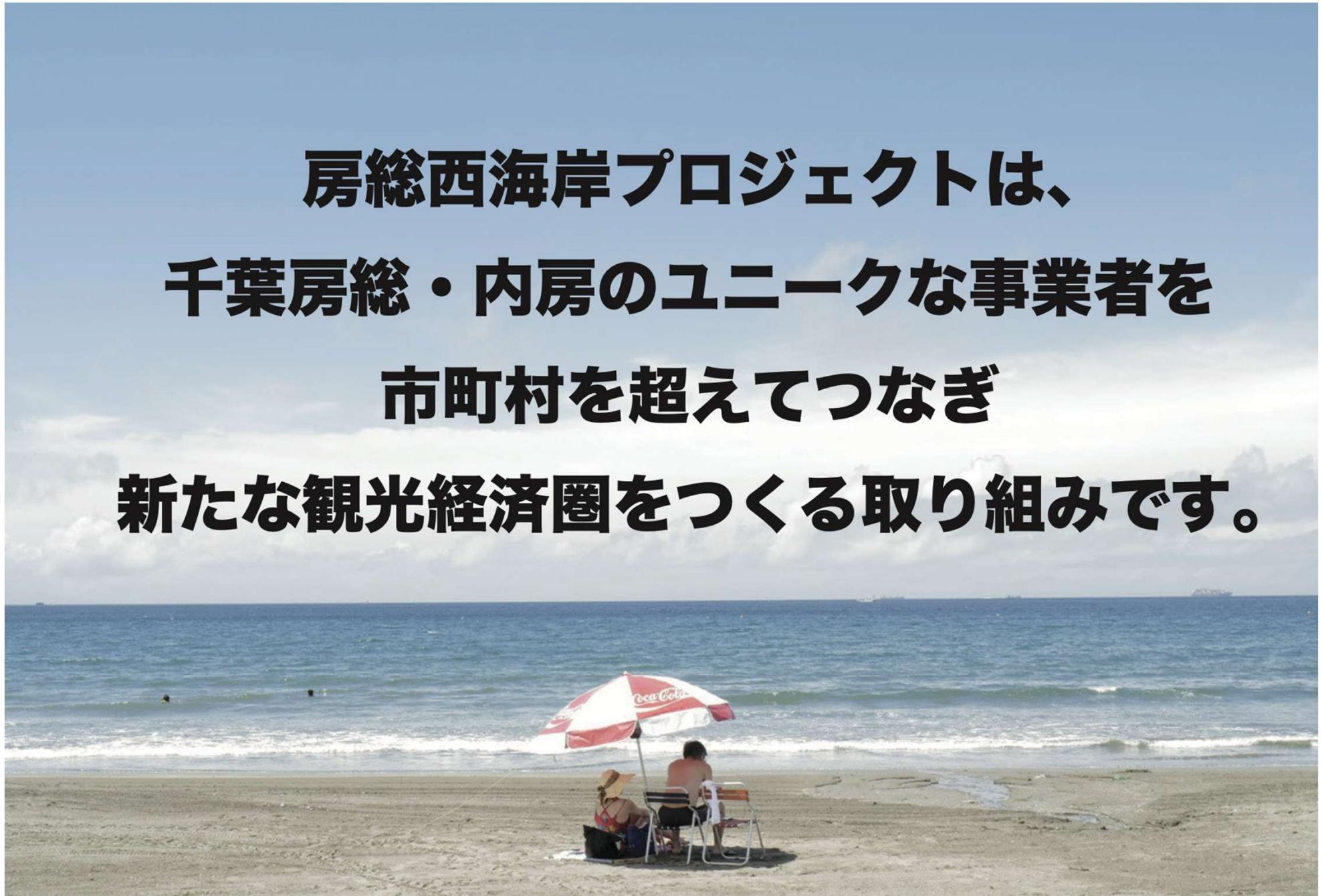


第2のふるさとづくりプロジェクト
房総西海岸協議会
BOSO WEST COAST

第2のふるさと

A NEW HOMETOWN

**房総西海岸プロジェクトは、
千葉房総・内房のユニークな事業者を
市町村を超えてつなぎ
新たな観光経済圏をつくる取り組みです。**



おもしろい事業者、個人が増えてきている。 これから絶対に面白くなるエリア。



南房企画 株式会社：観光・企画



株式会社 紀伊乃国屋：ホテル・旅館



株式会社トラックス(サンチャイルド)：マリンアクティビティ



株式会社VALM (BOTANICAL POOL CLUB) : プール／ビーチクラブ

株式会社アクト冷熱工業 (YANE TATEYAMA /北条文庫) : 本屋・複合施設



空間建築開発研究所：建築アーティスト



房総クラフトワークス：クラフトビール



山田永太郎：農業



佐久間ダム湖觀光生産管理組合：体験・観光





課題 1：知られざる観光地

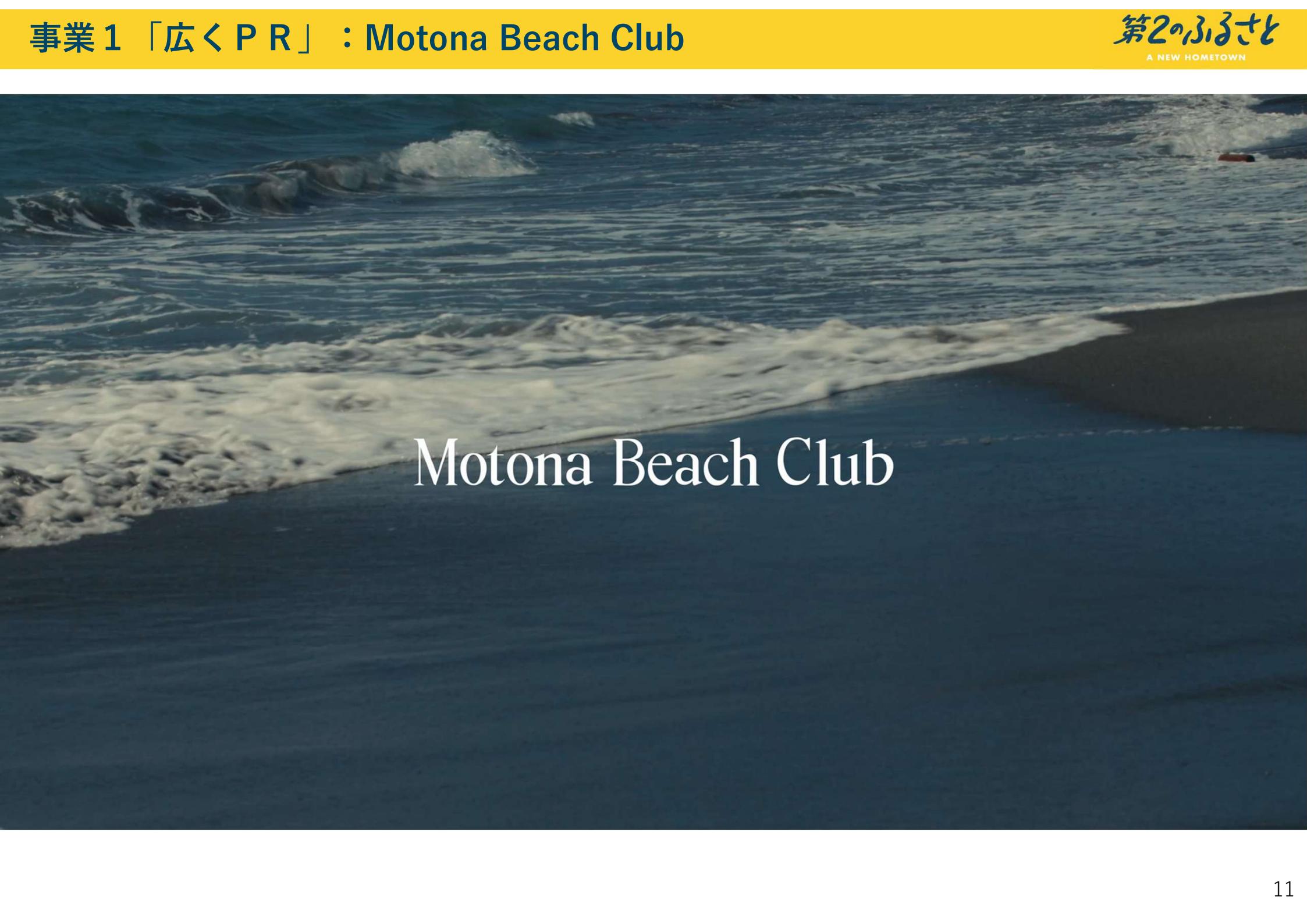
広くPR

ビーチクラブ事業

課題 2：たまにいく観光地

深く係る

ローカルビジネス事業



Motona Beach Club



Date

7/19 Sat

来場者

269人

売上

120万円

うち飲食売上
地域調達率

20%

来場者宿泊率

25%

販促

プレスリリース
自社サイト、DM、SNS
リアル営業

BOSO LOCAL BUSINESS CAMP



南房総を舞台に
ローカルビジネスを
考えてみる。



東京から車で80分。
自然豊かな南房総ですが、
高齢化率48%と
全国でも類を見ない状況です。
空き家や有賃資産、
耕作放棄地なども多く
課題先進地域とも言え、
可能性に満ちたエリアです。
この南房総をフィールドにし、
ローカルビジネスを立ち上げたい
「いつかは地域で生きていきたい」
と思う方に、
南房総という選択をしちゃもらいたい。

11/1（土）～11/3（祝）

11/22（土）～11/24（祝）

二泊三日
フィールドワーク型。
地域を考え尽くす
プログラムを。

実際に南房総で
ローカルビジネスを営む人たちや
地域に移住して活動する方の話を聞き
課題と可能性を探査していきます。
実際に手を動かす体験や、
自然に触れるアクティビティも。
楽しく、刺激的で、本質的な
学びのある三日間をご用意します。



DAY 1 | 知る・つながる

11:00 | SHIP 集合



11:00-12:30 | ORIENTATION

- ・オリエンテーション（運営メンバー南房企画より）
- ・豊島氏による特別講義「廃校再生とローカル事業」

150年古民家宿・はなもじくのお弁当



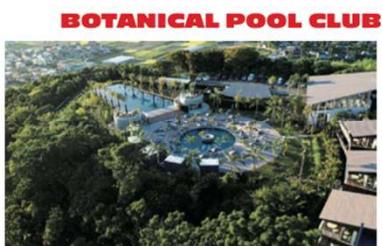
12:30-13:30 | LUNCH MEETING

地元食堂のお弁当を囲んで、アイスブレイク&自己紹介



13:30-15:00 | 1st Local Lecture

紀伊國屋グループのホテル 視察 代表の蛭田さんによるアテンド



15:00-16:00 | 2nd Local Lecture

Botanical Pool Club 代表の北原さんによるアテンド

17:00-18:00 | check in & break

FREE TIME



18:00-21:00 GIBIER BBQ & LECTURE

館山ジビエセンター所長 沖さんと、ジビエレザーを開拓する大阪谷さんによるレクチャー
ジビエ BBQ を楽しみながら話をうかがいます！



DAY 2 | あそぶ・楽しむ

8:00 | MORNING SESSION

浜辺でのヨガ/ピラティス



9:00 | 朝食

- オリエンテーション（運営メンバー南房企画より）
- 豊島氏による特別講義「廃校再生とローカル事業」



10:00-12:00 MARIN ACTIVITY

SUP or SURFIN

12:00-13:00 | ピザ焼きランチ

紀伊國屋グループのホテル 視察 代表の蛭田さんによるアテンド



13:00-15:00 | WORKSHOP @ IWAI

建築アーティストのベンヤミンによる講座+ちょっとしたワークショップ



15:00-18:00 | Field Work TATEYAMA

YANE TATEYAMA 館山など



18:00-21:00 DINNER

圧倒的においしくて大人気の中華・住吉飯店へ！（予定）

プレイベントの開催 計2回

NEWLOCAL 石田さんと話す「地域で仕事をつくる」@オンライン
Tabippo清水さん&greenz植原さんと話す「ローカル」酒場@オフライン

SNS広告

ターゲット：「観光・ローカル」に興味のある関東圏の18~60歳
と幅広く設定。

参加者のうち、現時点で2名が広告流入。

ゲストコーチ陣からの拡散

各ゲストが運営しているコミュニティ内でイベントの拡散



課題 1：知られざる観光地

広くPR

ビーチクラブ事業

課題 2：たまにいく観光地

深く係る

ローカルビジネス事業

2026年4月オープン
新規+リピーター
Beach Club Culture

ローカルキャリア人
企業連携ビジネス
地域醸成

地域名：富山県南砺市

事業者名：一般社団法人ジソウラボ



Touch the DOTOKU – 南砺のてしごと 事業紹介



第2のふるさと

A NEW HOMETOWN

南砺の伝統工芸（井波彫刻・五箇山和紙・福光麻布）の学びから、
その背景にある精神性「土徳」に触れることで何度も訪れる地となる実証事業

DOTOKU?

柳宗悦が提唱した「土徳」

土徳とは、民藝運動の父・柳宗悦が提唱した富山県南砺地域に根付く精神風土を表す言葉です。
明確な定義はありませんが、地域の人々が共通して感じる自然との共生や土地の精神性を指します。

昨年度から継続



井波彫刻コース



五箇山和紙コース



福光麻布コース

今年度からの新規プログラム

本事業のターゲット



想定ターゲット①

都市部在住の社会人（20～40代）

<基本属性>

年齢：20代～40代／居住地：都市部／職業例：アーティスト、デザイナー、製造業・建設業関係者、企画職など



想定ターゲット②

美術系学生（17～25歳）

<基本属性>

年齢：17歳～25歳／所属：金沢美術工芸大学、富山大学、京都伝統工芸大学校などの美術系学校

実際の参加者と集客状況

7月末から1か月間、関係各所へのチラシ配布、大学や地方自治体を通じた周知、Meta広告、地方活性×旅人マッチングプラットフォームのメルマガなどで集客。

今年度から有料化したことに加え、本格的に伝統工芸を学べるプログラムが評価され、学習意欲の高いメンバーが集まつた。

通年プログラムに関して、第3回目までのリピート率（2回以上参加）：100%

各回の参加率：約86%（皆勤者数：4名）

4泊5日
夏季集中プログラム

8
名

大学生8名
社会人7名
(平均年齢53歳)

全4回
通年プログラム

7
名

うち富山県外からの来訪者11名

第1回 9/13~14実施

- 民藝ゆかりの「光徳寺」で土徳ツアー
- オリエンテーション
- 交流会
- 各コースに分かれて伝統工芸体験

第2回 10/11~12実施

- 各コースに分かれて伝統工芸体験
- 地域の伝統継承イベント「南砺獅子舞秋の陣」観覧

第3回 11/8~9実施

- 各コースに分かれて伝統工芸体験
- 地域イベント「土徳祭」参加

第4回 12/13-14実施予定

- 各コースに分かれて伝統工芸体験
- 土徳ゆかりの「善徳寺」で発表会
- 交流会
- クロージングセッション

上記と別に「短期集中コース」を8/18~22と、9/5~9に実施

初回から参加者同士が交流できるようプログラムの流れを工夫。昨年度の参加者もサポートメンバーとして加わり、打ち解けやすい雰囲気を醸成した。結果、高いリピートに繋がっている

学びと交流の深化で愛着形成



【第3回の様子】
参加者＆運営が一緒になって楽しんだ

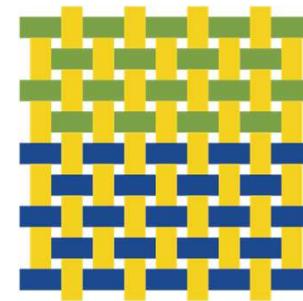


地域名 七尾市

事業者名 能登DMC合同会社



のと物語 共に紡ぐ復興のストーリー



能登DMC
NOTO DMC LLC.

第2のふるさと

A NEW HOMETOWN

HEADER

「のと物語」

共に紡ぐ復興のストーリー

令和6年能登半島地震による復興の担い手不足が最大の課題となっています。地域の持続可能性を高めるために、都市生活者が能登に関わり続けるための「関わりしろ」を示し、「何度も訪れたくなる能登」を目指します。



HEADER

旅マエ

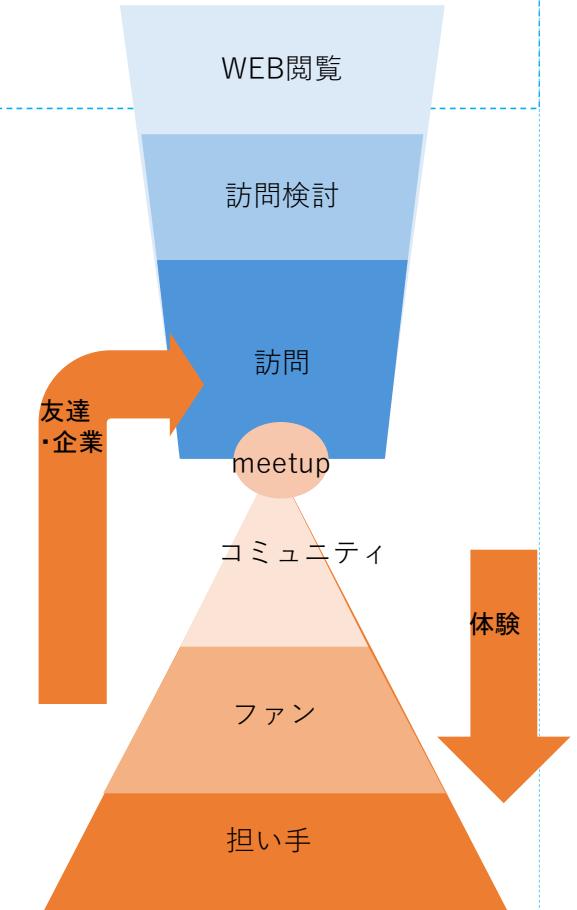
- ・東京でのイベント（のと100Meet Up）
- ・WEB・オンラインコミュニティ

旅ナカ

- ・地域の人々に会うツアー（のと物語、のと100ツアー）
- ・現地でのイベント（のと100Meet Up）

旅アト

- ・オンラインコミュニティ
- ・LINEオープンチャット：能登に関する情報交換



のと100 MEET UP! vol.3

08.05 TUE
18:30~START

辻野実
a.k.a core2core2000
株式会社 SCARAMANGA 代表
NOTONOWILD project 主宰

岡本 明希
一般社団法人 能登町開拓者会
事務局長

小山 基
能登 DMC 合同会社 CMO
ノトノオト 代表

大原 学
一般社団法人マツリズム 代表理事
マツリテーター

助川 富美恵 **杉林 拓望**
株式会社鰐破川メディアクリエイター 東京海洋大学海洋政策文化学科
一般社団法人 Work Design Lab 能登町地域おこし協力隊
石川エリオオフィサー



MEET UP! vol.4-1

能登の農家と牡蠣漁師の課題に触れる

—地域を持続可能にするビジネスモデルを作ることを目指して—

2025.11.21 FRI | 3×3Lab Future
開場 17:45 / 開始 18:15-20:30 | 大手門タワー・ENEOSビル1階

のと100



能登

農家：能登新鮮組
牡蠣漁師：山口水産

一次産業の
課題

東京

参加者のみなさん

今回のイベント

2025.11.21 FRI
MEET UP! vol.4-1



東京

課題解決に向けての
ディスカッション

近日中募集開始！

2026.1.18 SUN
MEET UP! vol.4-2

能登

課題解決に向けての
現地視察

のと100 MEET UP ! vol.4-2



地域名：石川県珠洲市

事業者名：珠洲市役所 観光交流課



復興関係人口による “心の絆”で繋がる第2のふるさとづくり



第2のふるさと

A NEW HOMETOWN

下記、3つのプロジェクトを実施しています。



農村魅力発信プロジェクト

珠洲市で高齢化が進む集落での農業や里山の暮らしに触れながら、地域資源を活かした商品や仕組みづくりの企画・実践等を行います。



観光拠点再生プロジェクト

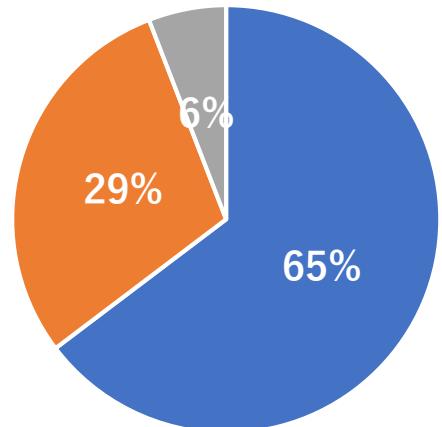
道の駅「すずなり」の売り場や案内機能の改善、新たな観光導線の設計、商品開発、情報発信等を現場と協働で企画し実装していきます。



須須神社支援プロジェクト

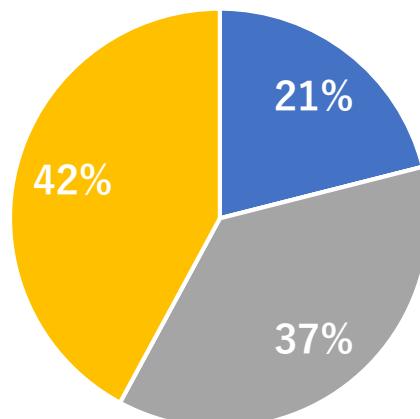
能登半島の最先端に位置する須須神社を高付加価値拠点にすべくブランド作りやコラボレーションアイテムの開発、販路開拓等を行います。

計、18名が参加しています。



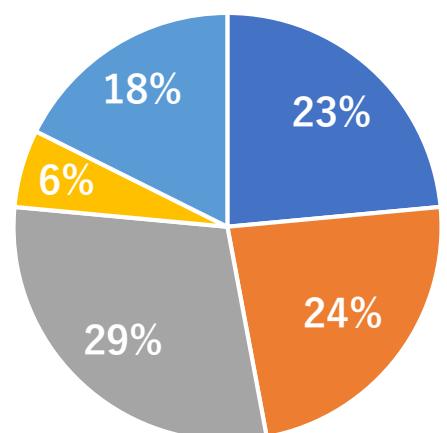
所属

- 会社員
- 経営者・個人事業主
- その他



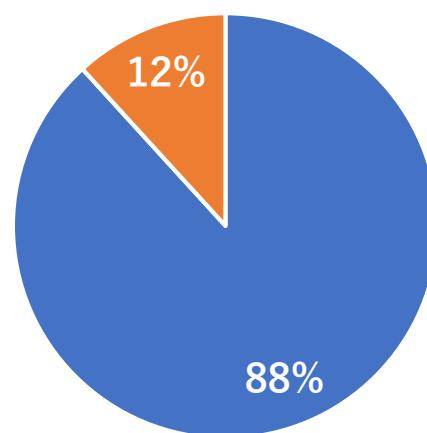
株洲市との関わり

- 今回が初めて
- 震災ボランティア
- その他



年代

- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代以上



住まい

- 県外
- 県内

男性8割、女性2割の参加

県外：東京・長野・愛知・香川
県内：株洲市、金沢市



人口150人！高齢化率70%超 “超”過疎集落・上黒丸地区から ワクワクを生み出す！



- ✓新商品開発と農作物の販路開拓
- ✓地震と豪雨で被災した里山の再生
- ✓圧倒的な自然と集落を支えるシニアの知恵をフル活用した新規事業

- ✓ フィールドワーク2回実施（上黒丸で草刈り、牛小屋清掃、地域住民との交流等）
- ✓ 上黒丸地区の課題をもとに各個人がやりたいことを提案して実施
- ✓ イオンの商品開発チームの研修として、上黒丸の地域資源を活用した商品開発ワークショップを企画中

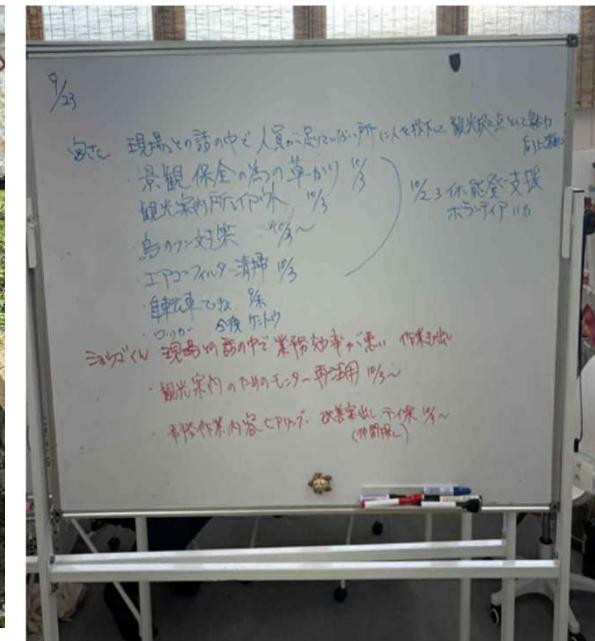




道の駅「すずなり」の機能・体制強化を通じて持続可能な観光拠点へ！

- ✓ 新商品開発
- ✓ 新たな観光コンテンツの販売
- ✓ 売り場の案内機能の改善
- ✓ 珠洲市の観光情報の発信

- ✓ フィールドワーク4回実施（個別訪問含む）
(道の駅すずなりスタッフからの課題ヒアリング、道の駅周辺の清掃)
 - ✓ イオンのボランティア総勢20名で道の駅すずなり周辺の草刈りや自転車撤去など景観保全の活動実施
 - ✓ 道の駅すずなりの商品開発や業務効率化のためのオペレーション改善など実施

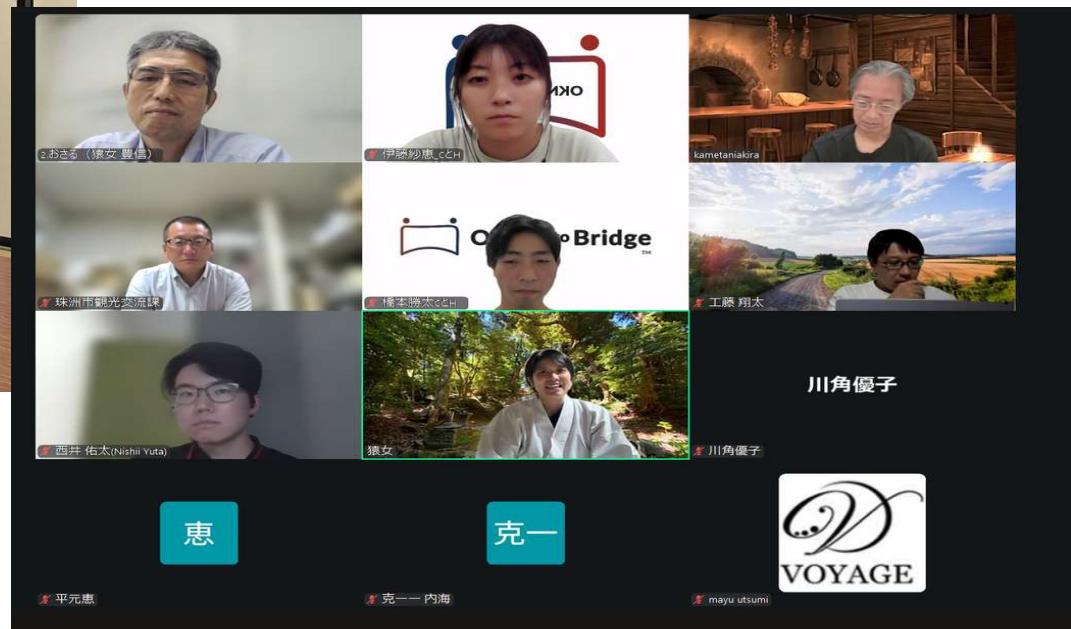




**日本海一帯の守護神
約2000年つづく須須神社で
新たな価値を創造する！**

- ✓ 高付加価値ブランディング
- ✓ コラボレーション商品の開発
- ✓ 須須神社ファンづくり

- ✓ フィールドワーク1回実施（須須神社や外浦地区の案内等）
- ✓ 今後、持続可能な須須神社にするために、公式WEBサイトを構築予定
コンテンツ作成や魅力発信に取り組む



集客施策について

- ✓ 基本はクローズドで、以前より災害ボランティア等で珠洲に関わりをもつ個人及び企業、連携事業者である合同会社CとH、株式会社パソナJOBHUBの人材・企業ネットワークを中心に声掛け
- ✓ オンライン説明会を開催（約30名参加）

再来訪施策について

- ✓ 携わる**地域や人の魅力**を感じてもらうようなプログラムを構築
- ✓ 継続的な関りができるように**ミッション参加型プロジェクト**として設計
- ✓ 参加者に**役割を与える**（参加者の強みや興味関心をベースに役割を与える）
- ✓ 各プロジェクトにおける**リーダー（地域コーディネーター）設置**
- ✓ 地域コーディネーターを通じた、**地域の方々とのコミュニケーションの機会**を構築

地域名：長野県生坂村
事業者名：生坂村観光協会



第2のふるさと

A NEW HOMETOWN

2024年より開始された長野県生坂村を舞台に企業連携による再生型観光

いくさか『創造の森』リジェネラティブ・ツーリズム第2期始動

- 地域と旅人が協働で未来をつくる<リジェネラティブDAO> -

令和7年【環境省「第2回サステナブルな旅アワード」特別賞受賞】

令和7年【第4回「JATA SDGsアワード」 環境部門 優秀賞受賞】

W受賞の実績を持つこのプロジェクトが、ネイチャーポジティブと地域コミュニティの融合に挑む第二章へ。地域や企業、そしてあなたと共に“育てる旅”が始まります。

自然と共に生き、地域課題をみんなで解決するリジェネラティブ・ツーリズム。昨年度は生物多様性や森林整備に取り組み、今年は一歩先へ全6回のツアープログラムを通じて地域と旅人が協働で未来をつくる「リジェネラティブDAO（分散型自律コミュニティ）構想」に挑戦します。

この取り組みは、生坂村観光協会、クラブツーリズム、株式会社フューチャーセッションズ、合同会社HiTTiSYO、株式会社アスエク、株式会社レシカの6つの企業がコンソーシアム形式で協力して進めています。それぞれの企業が持つ専門性とネットワークを活かし、多角的な視点からプロジェクトを支援します。

生坂村『創造の森』イメージ図

遊ぶように暮らそう！

いくさか『創造の森』プロジェクト

ここ生坂村『創造の森』はエコロジカルなライフスタイルを実践し、提唱する場。そして地域住民が自由に入りできる『地域の縁側』。ここにはさまざまな手仕事があります。さまざまな手仕事はコミュニティを円滑にし、遊ぶように仕事をすることを可能とします。持続可能な村。それはあなたと家族、あなたの愛する人すべてが続く未来であります。遊ぶように暮らすここ生坂村で。



中山間地域の里地里山

災害に強い自給自足型の地域コミュニティ

未来を担う地域の子どもたちが主役

伝統文化と最新技術の融合

このプロジェクトの特徴は以下の通りです

1. 生坂村公式自然研究員（ネイチャーフェロー）

全6回で開催されるツアー終了後には、参加者を「生坂村公式自然研究員（ネイチャーフェロー）」として認定し、彼らが地域の自然保護活動に積極的に参加することを奨励します。

2. 自然から学び、繋がり、自分自身を知る、多様な体験の提供

第2期では「ネイチャーポジティブ」を考え体感する自然ワークショップ、「大地の再生」ワークショップ、薬膳学から学ぶ自己を見つめるワークショップを開催。生き物の生態や自然の知識を学ぶだけでなく、実際に自然調査や再生活動に参加することで、深い理解と実践的なスキルを身につけることができます。

3. みんなで取組みたい地域課題を「起案」できる

地域を感じ体験することで、参加者は自身が来年度「生坂村公式自然研究員」として活動したい取り組みをプレゼンテーションし、参加者の議決によって、実際のプロジェクト作りを行います。

4. 地域との交流

各回のツアーに地元ゲストを招き、トークディスカッションを行います。村内の方々との交流を通じて、地域の文化や課題について理解を深める機会が設けられています。

5. 専門家によるガイダンス

立教大学の奇ニ正彦准教授他、専門家を講師に迎え、学術的な裏付けのある内容が提供されます

6. 前泊・後泊のオプショナルツアーで

ツアーの前後でオプショナルツアーを企画。地元の古民家での交流会やいくさか『創造の森』で焚き火を囲ってのBBQ、地元民が案内する村内周遊ツアーを敢行。



第二期 第2回目のツアープログラムを終えました！

11月1日・2日と1泊2日で「旅するいきもの大学校！」の第2回目が行われました。観光庁から5名のゲストが加わり、総勢32名が生坂村に集結しました。子どもが走り回り、参加者のワンちゃんが活動を見守る里山の秋の風景はのどかで心温まるものでした。第1回目の「対話」で生まれた「ここに古くから暮らす人々の話しが聞きたい。」というリクエストに応え、大日向の竹内清枝さんがゲストとして『創造の森』の夕食会に遊びにいらしてくださいました。竹内さんは「この村が大好きで、一步も外に出たくないくらい！」と自身の半生についてのお話しや村で行なっていらっしゃる活動についてご紹介くださいました。地域の人々が協力して行う活動を「おでんま」と呼び「おでんまの後のお茶のみが楽しくってね。」と地域の特色について教えてくださいました。

竹内さんの語らいに耳を澄ませた参加者。参加者からの質問も多く、その中でも村の他の方々が「旅するいきもの大学校！」の取組みについてや、意味合い・内容について知っているのか、もらえるのかが気になるという声も。企画者からは率直に、理解していただくまでに至っていないと伝えると、次の二つの新たな提案をもらいました。

- ①村の方々に先生役になっていただき、生坂村での活動を教わりたい。
②こちらから伺う。地域の行事やおでんまに参加させていただき、色々なアイデアについて対話する。

第3回目・最終回に向けては「自律分散型」の社会システムについて学びを深めようと企画していましたが、皆さんのお意見を取り入れて方向転換を図ってみたいと思います。竹内さん、手作りのこんにゃくと甘柿をいただき、ありがとうございました。大変美味しくみんなでいただきました。



焚き火を囲って竹内さんのお話を伺いました



秋晴れの中、まずはチェックイン！

飛鳥先生の陰陽五行の薬膳学が大好評

高校生のゆいき君は村の子供に大人気



『創造の森』の構想を 話す星野

土中環境を整える「大地の再生」の学びと実践。自分自身を知る「薬膳学」と生物多様性の観察を中心に、里山に必要な手を入れて再生させる活動一。その全てが見事にシンクロする第2回目でした。額に汗をかき、フィールドを縦横無尽に動き回り活動する参加者の笑顔と真剣な眼差しを前にし、ミクロとマクロの視点で自然観察を中心に「生き方」そのものを幅広い世代で「学び」「実践」し「対話」するこの「旅するいきもの大学校！」が昨年、大きな賞を受賞し、その後多くの企業や教育現場から本取組について、「創造の森」の取組みについて、教えて欲しいと要請される理由が分かった気がしました。「遊ぶように暮らそう！」の合言葉は始め、理解を得難いようでしたが、若いでらを中心に共感を呼んでいます。これからも活動の幅を広めていきたいと思います。スタートはこの地、生坂村からでした。村民の皆様方には感謝申し上げます。

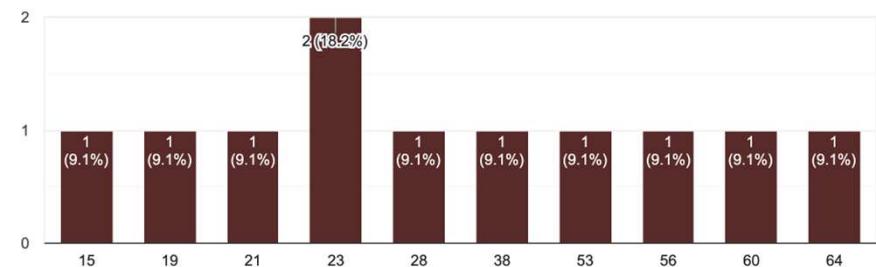
宿泊施設のキャパを鑑みて最大20名を想定して応募開始

応募期間：7月31日～9月12日

応募総数：19名（辞退：2名／新規：8名／一期生：7名／その家族：2名）

年齢をご記入ください。

11件の回答



都道府県

11件の回答



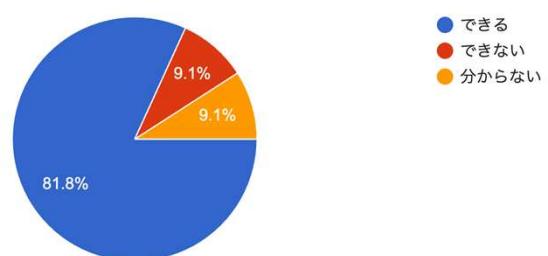
「旅するいきもの大学校！」を、どのようにしてお知りになりましたか。

11件の回答



現地開催のプログラムツアーに2回以上参加できますか。

11件の回答



1泊2日のツアーに2回以上参加が条件。参加ハードルを高く設計。

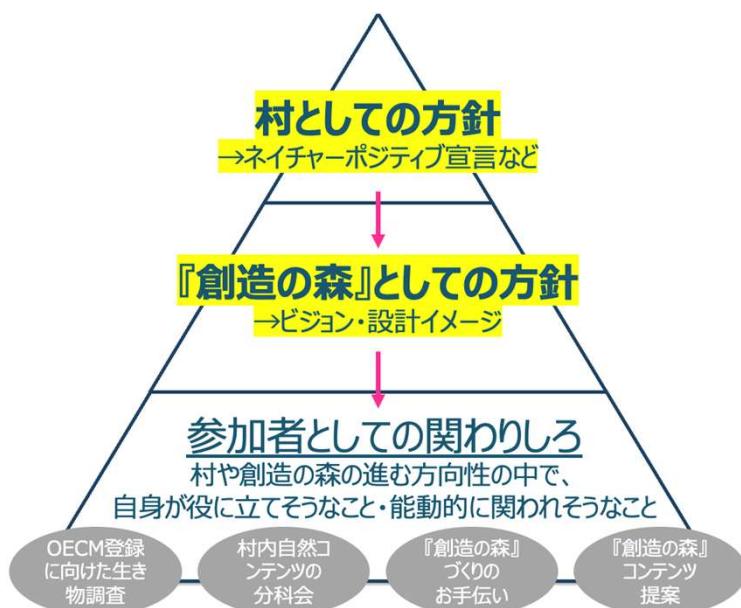
昨年は日帰りプログラムだったこともあり、20名のところ34名の集客があった。連携企業も含めるとフィールドに約50名が集った。そのため、雑務が多く、プログラムの精度を上げることが叶わなかつた。本プログラムは事業化を目指しており、またDAOという金融商品を扱うことが想定されるため、より参加者にコミットメントを求める方向に舵を切った。本年度もプログラムのガイダンスを担当する立教大学・奇ニ准教授の生徒、ゼミ生、関係者が約6割を占める。

村民との交流

LINEのオープンチャットでのコミュニケーションによる参加者同士の愛着

次回・来期への期待の醸成ー自身の提案をプロジェクト化するー

○○先生に会いたい、地元の○○さんに会いに行きたい！「推し」のいるフィールドを目指す



総括：最も重要なことは来訪目的及び関わりしろの明確化

地域名 和歌山県和歌山市
事業者名 地域課題解決型観光開発和歌山モデル協議会

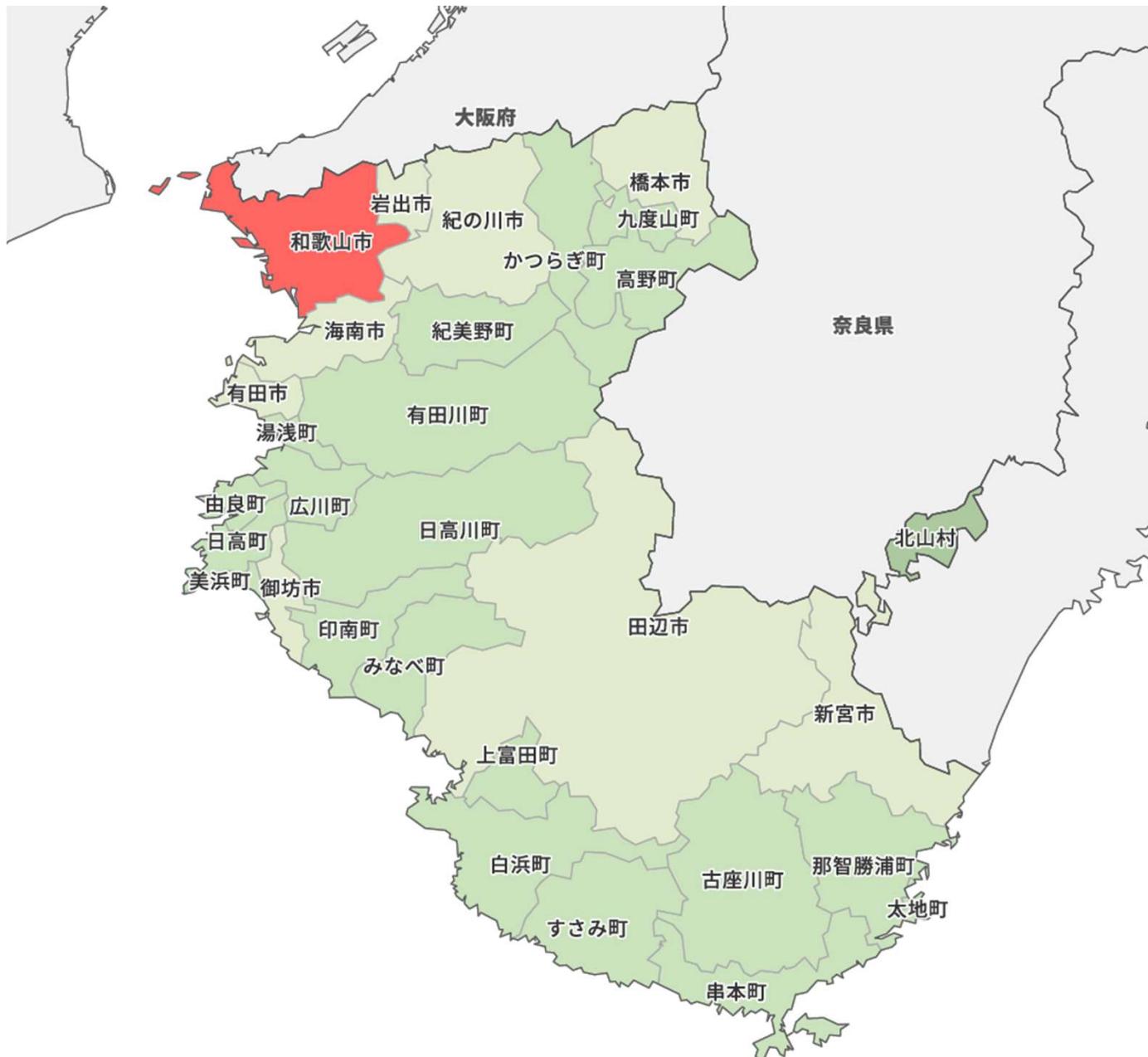


<地域課題解決型観光開発和歌山モデル事業>



第2のふるさと

A NEW HOMETOWN



人口

県全体 約87万2,359人
和歌山市 約350,911人

※令和7年4月1日時点

令和5年 観光入込客総数

約31,941千人

日帰り客 約27,019千人
(日帰り率: 約84%)

観光消費単価

日本人国内旅行 7,422円/人

※全国平均44,034円 (2023年)

空き家率

和歌山県全体 21.2%
全国ワースト 2位

実施期間：2025年7月1日～2026年1月31日

自費で1年に4回来訪する関係人口の創出、以下の5つのターゲット層に対し、
4回ずつモニターツアーを実施（各3名・全15名）



親子釣り教室モニター

株式会社
インプレッション



テレワーカー育成セミナー

株式会社aubeBiz

おてつたび



おてつたびツアー

株式会社
おてつたび



ぶらり和歌山1泊2日モニター

株式会社
クラブツーリズム



大阪観光大学

大阪観光大学 観光学部
学生

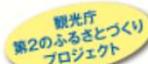
モニターツアーパンフレット（表）



楽しむふるさと ここにあります。

まずはモニターツアーで感じて欲しい。

*全てのモニターツアーは無料ですが、宿泊費と現地までの交通費は参加者負担です。



地域課題解決型観光開発和歌山モデル事業

“都会すぎず、田舎すぎず、ちょうどいい”暮らしの街

和歌山市の魅力

大阪からわずか1時間。

世界遺産に登録を目指す「熊野古道紀伊路」や日本遺産の「和歌の浦」、徳川御三家「和歌山城」など、歴史と文化が息づくまち・和歌山市。

美しい海岸線では、釣りやマリンスポーツを気軽に楽しめ、豊かな自然が日常のそばにあります。

さらに医療や教育の環境も整い、安心して暮らせるのも大きな魅力。新しいライフスタイルにぴったりのまち・和歌山市、ここであなたの“楽しむふるさと”を見つけてみませんか。

和歌山市へのアクセス



車

大阪方面から
牧田JCTから和歌山ICまで
約1時間



大阪方面から
【JR阪和線】新大阪駅から和歌山駅まで
約1時間(特急利用)
【南海本線】難波駅から和歌山市駅まで
約1時間



飛行機から
関西国際空港から
南海、JR、リムジンバスで
約40分



地域課題解決型観光開発和歌山モデル協議会



株式会社 和み



一般社団法人観光立国
プラットフォーム



大阪観光大学



クラバツーリズム
株式会社



地元の和歌山の編集者とライターたちが
発信する「口カルわかやま」に
モニターツアーの詳細を掲載しています!

モニターツアーの
詳細はこちらから



協力 和歌山県、和歌山市

プラン1

おてつたびモニターツアー

お手伝いしながら
知らない町へ 旅に出よう！

おてつたび

和歌山市へ4回通う人募集!
地域課題を解決しながら
観光開発をお手伝いする
モニターツアーです。



詳細はこちら

- 第1弾 9月17日(水)～9月21日(日)
空き家再生事業サポートなど
- 第2弾 10月11日(土)～10月13日(月)
宿泊施設などのサポート
- 第3弾 11月1日(土)～11月3日(月)
竹灯籠イベント準備などのサポート
- 第4弾 12月29日(月)～1月6日(火)
宿泊施設運営などのサポート

プラン2

テレワーカー育成セミナー

「テレワーク入門ミニ講座」

日 時：2025年 9月21日(日) 14:00～16:00
場 所：フォルテワジマ4階リビングカルチャー倶楽部
定 員：30人
対 象 者：テレワークの仕事に興味のある方



講師
株式会社aubBiz 代表取締役
酒井 晶子さん
織維メーカーや外資系企業、広告代理店勤務を
経てこれまで3000人以上の研修企画・採用・
人材育成に携わってきました。



詳細はこちら

プラン3

親子釣り教室モニター



休日は家族で自然を満喫しませんか？
釣り道具もない初心者のご家族対象。
週末に釣りをやってみたい方、
釣った魚を美味しい調理して味わいたい方必見です！
釣りのイロハからダイナミックな船
釣りまで楽しめ、釣った魚の料理教
室まで体験できます。
和歌山市ならではの海の恵みを通じて、地域とのつながりや“もう一つ
のふるさと”を見つけてみませんか。



空き家を再生して生まれ変わった
居酒屋+ゲストハウス「いつわや」。
釣りの料理人が、釣った魚を美味しい
料理に仕上げるサポートをして
くれます。

主催 株式会社和み

- 第1弾 10月4日(土)、5日(日)
釣りの基本レクチャー+釣糸方体験
- 第2弾 10月25日(土)、26日(日)
波止場釣り+日本遺産和歌の浦を観光+
魚引き実践
- 第3弾 11月15日(土)、16日(日)
波止場釣り+マリーナシティを観光+
魚引き実践
- 第4弾 11月22日(土)、23日(日)
釣船釣り+寿司握り体験

※スケジュールは雨天の場合変更となる場合がございます

プラン4

「大学生観光開発プログラム」モニター



駅長タマは世界に人気だが、乗客減少に
悩む貴志川線、沿線の空き家再生で宿泊
施設などを増やし二地域居住で観光開発
を実践するプログラムです。

主催 株式会社和み

- 第1弾 9月13日(土)～16日(火)
貴志川線沿線の空き家再生
- 第2弾 11月21日(金)～24日(月)
地域イベント支援
- 第3弾 12月24日(水)～28日(日)
空き家再生ゲストハウスのお手伝い
- 第4弾 1月10日(土)～12日(月)
地域のお祭り支援

モニターツアーパンフレット（裏）

第2のふるさと
A NEW HOMETOWN

プラン5 ぶらり和歌山1泊2日モニター

熊野古道紀伊路など 歴史文化をのんびり訪ねる

熊野古道紀伊路は「熊野古道」を世界遺産に登録するプロジェクト運営委員会代表の 小野田真弓氏が案内する予定です。その他のコースも地元ガイドが案内します。

10月 熊野古道紀伊路と和歌山城

【実施期日】
令和7年10月29日(水)、30日(木)

熊野古道から中世、近代の歴史遺産を巡る

集合:JR和歌山駅中央改札前 12時40分 徒歩区間約6キロ 所要1時間30分程度

JR和歌山駅 13:00発 → 和歌山電鐵ラッピング電車 → 伊太祁曾駅(駅舎、検査場見学) 13:19着

→ 和み空き家見学 → 矢田峠 → 飯喜寺 → 旧中筋家 16:30 → 送迎車等 → 和歌山市内

10/29
(水)



城下町和歌山市の歴史を学ぶ

集合:南海和歌山市駅 9時

南海和歌山市駅 9:00発 → 和歌山市立博物館 → 南方熊楠生誕地 → 和歌山城内(和歌山歴史観察室紅葉庵にて抹茶体験) → 和歌山城天守閣 → 昼食は和歌山ラーメン → JR和歌山駅または南海和歌山市駅解散 13:00頃

10/30
(木)



11月 木の国神話の里と日本遺産和歌の浦

【実施期日】
令和7年11月19日(水)、20日(木)

木の国神話の社伊太祁曾神社と四季の郷公園

集合:JR和歌山駅中央改札前 13時

JR和歌山駅 13:00発 → 和歌山電鐵ラッピング電車 → 山東駅 13:21着 → 和み空き家見学

11/19
(水)

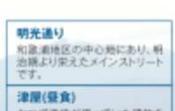


万葉集に歌われた景勝・日本遺産「和歌の浦」を探訪

集合:JR和歌山駅または南海和歌山市駅 9時

JR和歌山駅・南海和歌山市駅 9:00発 → 送迎または路線バス → 和歌浦・万葉館 → 不老橋 → 玉津島神社 → 明光通り → 紀州東照宮 → 津屋にて昼食 → JR和歌山駅・南海和歌山市駅解散 13:30頃

11/20
(木)



12月 熊野古道紀伊路と港町・加太

【実施期日】
令和7年12月10日(水)、11日(木)

西国2番札所紀三井寺から西国巡礼路(近世熊野古道)を北上する

集合:JR和歌山駅中央改札前 13時

JR和歌山駅 13:00発 → さくに縫 → 紀三井寺 13:06着 → 西国二番札所 みかん狩り(お土産付) → 西国巡礼路 → 雲山神社・参拝 → 雲山駅 → 和歌山電鐵 → JR和歌山駅

12/10
(水)



紀淡海峡を望む港町・加太を探訪

集合:南海和歌山市駅 9時15分

南海和歌山市駅 9:30発 → めでたいでんしゃ → 加太駅 10:00着 → 春日大社・役行者堂・淡嶋神社 → 昼食 → 加太駅 13:00頃 → めでたいでんしゃ → 和歌山市駅 13:30頃

12/11
(木)



春日大社 中世の地を支配した藤原一族がご先神であるこのことがはじまり、海村の地として色負を集めてきたことがわかります。
役行者堂 修行の地であり戸田氏が淡嶋神社を建立し、毎年3月3日、全国から集まつたひな人形を加太の舟に流す御流しの神事があります。

1月 たま駅長初詣と戦国時代の史跡

【実施期日】
令和8年1月7日(水)、8日(木)

和歌山電鐵たまちゃん駅長に会い、沿線の歴史を探訪する旅

集合:JR和歌山駅中央改札前 13時

JR和歌山駅 13:00発 → 和歌山電鐵ラッピング電車 → 貴志駅 13:32着 → ウルトラ駅長タマとご対面、たま大明神ご参拝 → 大国主神社参拝 → 貴志駅周辺古墳めぐり → 甘露寺駅 16:00 → 送迎車等 → 和歌山市内

1/7
(水)



和歌山市の戦国時代の史跡を巡る

集合:JR和歌山駅 9時

JR和歌山駅 9:00発 → 前日宮(初詣) → 太田城水攻めの地 → 貞田堀 → 本願寺鷺ノ森別院 → 和歌山城周辺(徳川吉宗像、刺田比古神社、時鐘堂、父母の碑) → 14階農園で昼食 → JR和歌山駅・南海和歌山市駅解散 13:00頃

1/8
(木)



和歌山市集いに名を馳せた鷺ノ森別院の境内に現存する「人気漫画『鬼滅の刃』」に登場する野薙華の隠れ家だったといわれる美少女神社「甘露寺」がある。また、同じく隣接する「大國主神社」は後鳥羽上皇が御宿泊した際に御神事を行ったとされる。また、平池緑地公園内には築造された古墳として巡礼スポットに。また、山門の脇には「和歌山城周辺」の看板がある。

クラブツーリズム株式会社が旅行主催する予定です。

地元メディア「ロカルわかやま」を活用し、取り組み情報の一元化を図っている。
モニターツアー募集も実施している。

ロカル わかやま

▶ ライフ > 第2のふるさとづくり 観光開発和歌山モデル



ライフ

第2のふるさとづくり 観光開発和歌山モデル

© 2025.08.25

▲ロカルわかやま2022年媒体資料より引用

地元メディア「ロカルわかやま」を活用し、取り組み情報の一元化を図っている。
モニターツアー募集も実施している。

ロカル わかやま 増え続けるファン

●県内メディア断トツNo.1のSNSファン数

ユーザーの動向に合わせてSNSを展開しています。

Instagram



facebook.



LINE



twitter



ロカル わかやま

旬の“知りたい”がぎっしり！



フォロワー数はトータルで**約34,600人以上** ※2022年12月現在

媒体資料 2022.12.12

大阪・QUINTBRIDGEにて、セミナーを開催。大阪在住のファミリー、シニア、テレワーカーなどを対象としたセミナーを開催。「熊野古道」「釣り」「テレワーク」のキーワードに興味のある方が来訪。



「おてつたび」と連携し、和歌山市内の受け入れ先業者を増やすことで労働力不足の課題を解決する。人手が少ない飲食店営業の営業スタッフや宿泊施設の清掃等を依頼。わざわざ遠方から応募いただくケースもあり、地域の労働力不足にも貢献しつつ、仕事きっかけに再来訪する機会を創出。

1回目：09月17日（水）～09月21日（日）

- ・飲食店の運営、宿泊施設の清掃など

2回目：10月11日（土）～10月13日（月）

- ・宿泊施設の清掃、ベッド交換等

3回目：11月01日（土）～11月03日（月）

- ・竹灯夜イベントの竹準備

4回目：01月04日（土）～01月06日（月）

- ・飲食店の運営、宿泊施設の清掃など



aubeBiz社と連携し、和歌山市内の“ローカルテレワーカー”創出に向けてセミナーを開催。26名が参加し、テレワークコミュニティづくりを進める。一方でテレワーカーを誘致し、熊野古道ウォーク体験できるプランも開発中



株式会社和みにて運営する飲食店・宿泊施設「いづもや」にて、釣りを子どもに体験させたいファミリーをターゲットに週末釣り教室として実施。回数を重ねるごとにスキルアップ+釣る魚を大きくしていくインセンティブを組み込む。

1回目：10月08日（水）<10月7日 前泊>

- ・釣り道具の使い方 + 魚の捌き方

2回目：10月29日（水）<10月28日 前泊>

- ・波止場釣り + 魚捌き体験

3回目：11月16日（日）<11月15日 前泊>

- ・波止場釣り + 魚捌き体験

4回目：11月23日（日）<11月22日 前泊>

- ・釣船にて沖で釣り + 寿司握り体験



大阪観光大学と連携し、和歌山市内の受け入れ先業者を増やすことで労働力不足の課題を解決する。人手が少ない飲食店営業の営業スタッフや宿泊施設の清掃等を依頼。わざわざ遠方から応募いただくケースもあり、地域の労働力不足にも貢献しつつ、仕事きっかけに再来訪する機会を創出。

1回目：09月13日（土）～09月16日（火）

- ・空き家の清掃、セミナー開催の運営補助など

2回目：11月21日（金）～11月24日（月）

- ・竹灯夜イベントの準備など

3回目：12月24日（水）～12月28日（日）

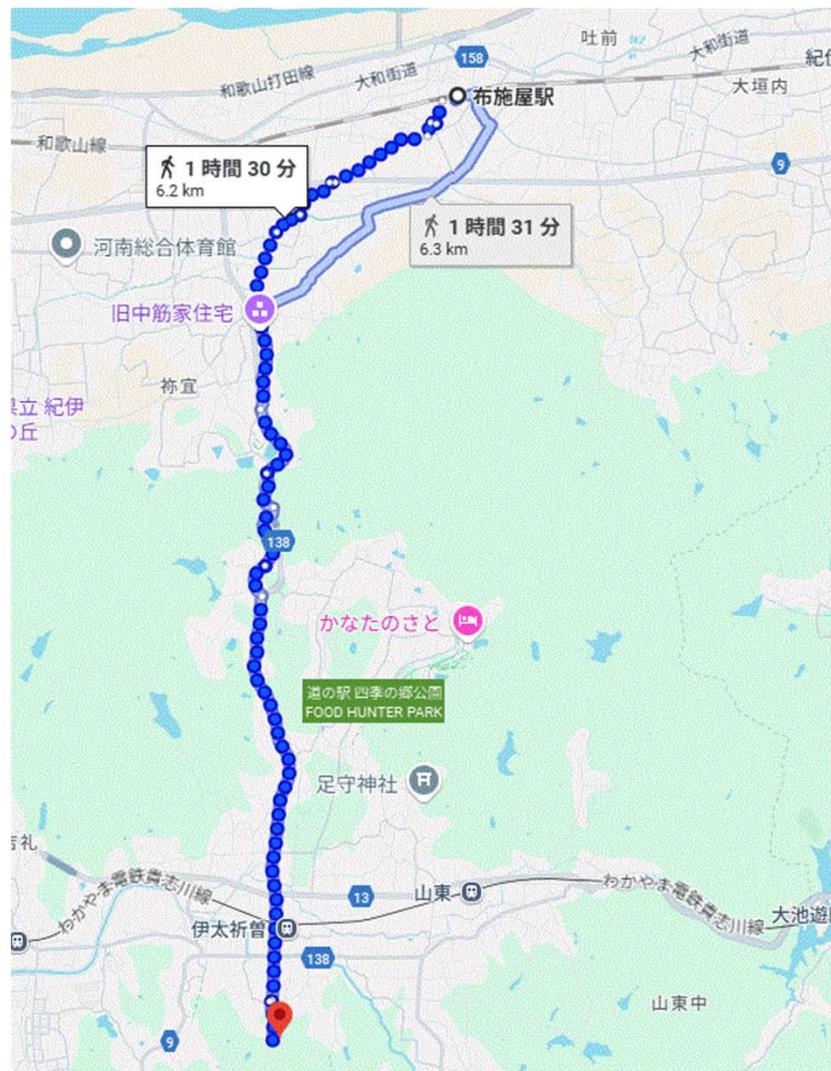
- ・空き家の実測、インバウンドヒアリングなど

4回目：01月10日（土）～01月12日（月）

- ・和歌山電鐵のお手伝い、地域イベントの補助など



全長120kmある熊野古道はコースを区切って数日かけて歩くロングトレイルコースが一般的であり、カジュアルなショートコースは数が少ないため、ショートコースを実施することで新規来訪者の獲得と、リピート来訪を狙う。



小野田 真弓 氏

『熊野古道』を世界遺産に登録するプロジェクト準備会代表

1989～1991年に留学した北京市内で体験した事がきっかけで「熊野古道を世界遺産にしたい」と渴望し、1997年8月2日に和歌山県内の青年団体の有志と任意団体を立上げ「熊野古道を世界遺産にしよう!」と広く呼びかけ活動を始めました。2004年熊野古道の一部が「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録、2016年に追加登録された後も毎月1回熊野古道を歩き、様々なイベントを開催し「世界遺産は異文化を理解する教材」と保全と活用の大切さと危うさを伝えてながら活動を続けています。

- ・和歌山県世界遺産マスターである小野田真弓氏と熊野古道紀伊路を歩くモニターツアーを企画中
- ・世界遺産登録に向けて和歌山県、奈良県、三重県で協議中。世界遺産登録となると、貴志川線の来訪者増に大いにメリットとなる可能性が高い

実施期間：2025年7月1日～2026年1月31日

モニターツアー参加者に対する旅マエの情報提供を兼ねて、一般参加も可能なリカレント講座を合計4回展開。



観光庁
第2のふるさとづくり
プロジェクト

地域解決型観光開発モデル事業

テーマ

「和歌山市の課題を解決！関係人口が集まる楽しい町をつくろう」

第2のふるさとへの旅を楽しむためのオンライン講座 **無料**

主催



地域解決型観光開発和歌山モデル協議会

旅マエの取り組み：オンラインセミナーの開催（全4回）

第2のふるさと
A NEW HOMETOWN

第2のふるさとへの旅を楽しむオンライン講座

第1回

テーマ/和歌山市の課題を解決！
関係人口が集まる楽しい町をつくろう！

- 1.空き家再生で
観光拠点をつくろう！ 2.関係人口で和歌山市の
人材不足を解決しよう！



ゲスト
株式会社和み
プロデューサー
永田大樹氏



ゲスト
株式会社おてつたび
新規事業
連携事業リーダー
堀内祐多氏



ZOOM 9/11

THU
18:30~20:00

主催/大阪観光大学
課題解決型観光開発和歌山モデル協議会

受講18名
／申込23名

第2のふるさとへの旅を楽しむオンライン講座

第3回

テーマ/和歌山市の課題を解決！
関係人口が集まる楽しい町をつくろう！

- ⑤和歌山市の日本遺産を10倍
楽しめる旅を教えます！ ⑥熊野古道紀伊路を
世界遺産へ広げたい！



ゲスト
クラブツーリズム
株式会社
テーマ旅行部
顧問
黒田尚嗣氏



ゲスト
熊野古道を世界遺産に
登録するプロジェクト
準備会
代表
小野田真弓氏



ZOOM 9/25

THU
18:30~20:00

主催/大阪観光大学
課題解決型観光開発和歌山モデル協議会

受講64名
／申込82名

第2のふるさとへの旅を楽しむオンライン講座

第2回

テーマ/和歌山市の課題を解決！
関係人口が集まる楽しい町をつくろう！

- ③地域を元気にする
「ローカルテレワーカー」に
あなたもなれる！ ④和歌山市の釣りと魚料理で
お母さんが樂する
ファミリーツアーを！



ゲスト
株式会社
aubeBiz
代表取締役
酒井晶子氏



ゲスト
株式会社
インプレッション
代表取締役
オダギリ サトシ氏



ZOOM 9/18

THU
18:30~20:00

主催/大阪観光大学
課題解決型観光開発和歌山モデル協議会

受講15名
／申込22名

第2のふるさとへの旅を楽しむオンライン講座

第4回

テーマ/和歌山市の課題を解決！
関係人口が集まる楽しい町をつくろう！

- 7.地域ファンドであなたも第2の
ふるさとづくりを楽しもう！ 8.和歌山市の楽しい観光開発と
観光地経営人材の育成！



ゲスト
日本橋くるみ
行政書士事務所
代表行政書士
石井くるみ氏



ゲスト
大阪観光大学
特任教授
小野田金司氏



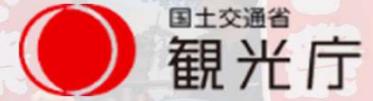
ZOOM 10/2 THU
18:30~20:00

主催/大阪観光大学
課題解決型観光開発和歌山モデル協議会

受講71名
／申込98名

地域名：広島県三原市

事業者名：株式会社まちづくり三原



MACHIDUCREW DAOを活用した “第2のふるさと”祭り体験型ツーリズム

まちづくり三原

第2のふるさと

A NEW HOMETOWN

神明市
(2月)



半どん夜市
(6月)



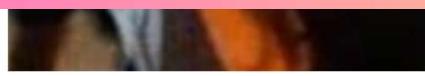
やっさ祭り
(8月)



浮城まつり
(11月)



季節ごとにお祭りが新幹線駅周辺（徒歩5分圏内）に集まっているまち





まちの担い手が減少
踊り手も減少



地元

市外県外

地域を知りたい！
課題解決したい！
お祭りに関わりたい！



～WEBアプリ「MACHIDUCREW DAO」を使い～
市外県外の人が担い手になりながら楽しめるお祭り体験ツアーをスタート



踊って遊んで
無料モニター参加



SNS広告 + 地方創生コミュニティ + 移住・関係人口イベント

(今後は、新成人の集い、ゆかりのある大学)

無料モニターツアー



旅マエに活動していると「コイン」が溜まり当日色々交換できる！

○お祭りSNS告知しよう！

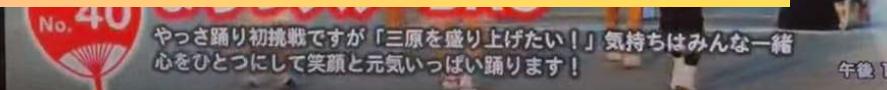


○やっぱ祭りの動画を見よう！





「手伝い」から「踊りで出場」、そして審査待ちからの受賞ならずを体験
そして・・・「コイン」も溜まっていく！



【ランチ】お米と... 600 YASSA

三原のお米と瀬戸内の魚をより
美味しく築100年の古民家レ...
1Lv以上

ひとり1個まで

【魚細井】800 YASSA

創業100年
魚細井」
1Lv以上

ひとり1個まで

【500円クーポン... 200 YASSA

「みなとオアシス三原」
は、住民や観光客の交流拠点...
1Lv以上

ひとり1個まで

【モノ】三原た 250 YA

三原の縁起物とい
れ！江戸時代末期か
1Lv以上

ひとり1個まで

【モノ】瀬戸内三原... 250 YA

瀬戸内三原のおいしい土
産もんと交換 瀬戸内・三原...
1Lv以上

ひとり1個まで

【宿泊】新幹線駅か 10LV以上

瀬戸内海に浮かぶ、新
駅から最も近い離島「佐...
10LV以上

ひとり1個まで

特典と交換できるもの、他にも、お祭り出店権なども？

参加証明書NFT発行



DAOで振り返り！

【課題解決】やっさ祭り改善点
教えて！

報告方法：コメント投稿

- コメント例：「踊りチームのそれぞれの見どころを事前に知れるようにしたらいい」
- コメント例：「飲食エリアをもっとわかりやすく！事前にどんな飲食があるかしれたらいい！」

ikechh 11日前
踊り参加チームへは、集合は出発地点Aと案内されただけど、実際にはしまなみ信金前付近だったんですね～。最初にスタートするチームは分からず探し回ってました😊

50YASSA
トモさん ✓ 承認済み

Azusa 18日前
(同様のクエストをもうすでに実行した気がしますので、コインは不要です)
今後「やっさ祭り」が発展する上で、方向性がより明確になれば良いと思いました。
やっさ祭りの動画をyoutubeでみてると「踊り好き」と思われたようで阿波踊りの動画がよく上がってくるようになり、見るようになりました。ルーツが近いと聞いたことがあります、お囃子や踊り方も確かに似ているところがあるので、良い比較対象だなと思いました。
あちらは踊りを見せるものとしてセミプロ化しどんどん洗練化や個性化を図って、一大観光コンテンツとして特にこの数年は大きく成功しています。
あいまた、「見せる踊り」としての

改善点や感想などをあげていくと、「コイン」が溜まっていく。



次回のお祭りへ！2回目3回目の方が更に特別な体験ができる！

地域名 洞爺湖町

事業者名 株式会社渡辺梶包企画



<北海道・洞爺湖町 トーヤの森 第2のふるさとプロジェクト 企業版>



第2のふるさと

A NEW HOMETOWN

観光地としての知名度が高い一方で、滞在時間・再訪率を上げるために出来る事を探る
→再来訪率が明記された資料は見当たらない

「関係人口」創出の全国的潮流（観光→滞在→共創）

洞爺湖町における持続可能な地域交流拠点としての可能性

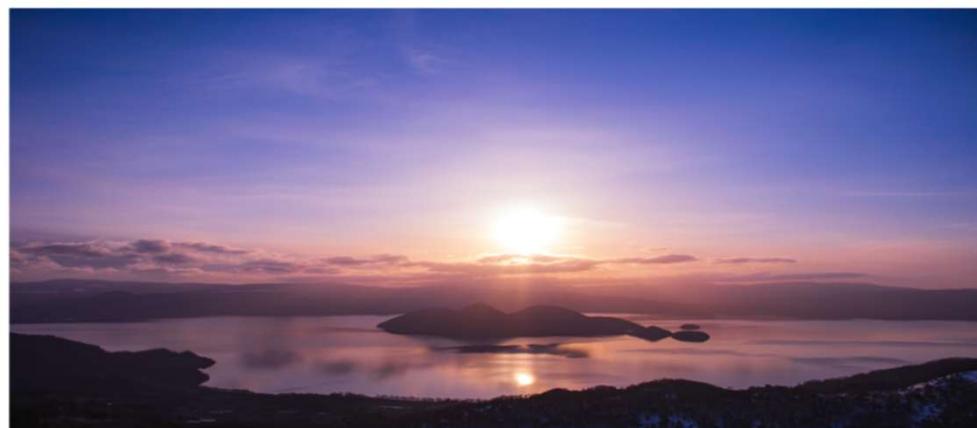


- ①居場所の提供として
- ②交流プログラムの実施
- ③林業を学ぶ場として



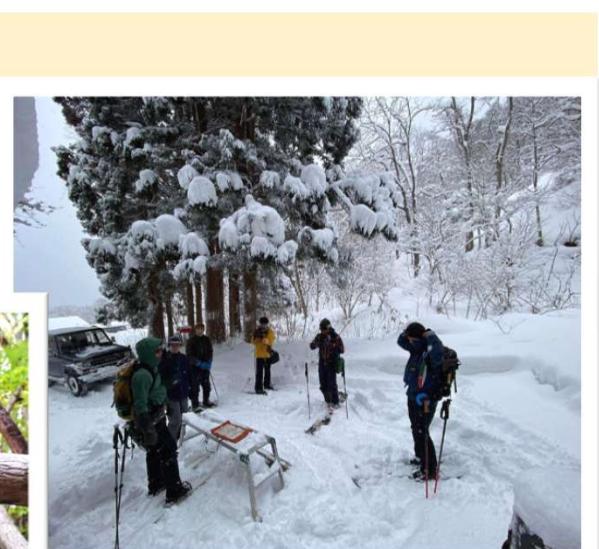
観光業（地方都市として）

- ・地方都市では観光客の再来訪、長期滞在などの環境力が弱い
- ・人材確保や労働力の確保（質の高いサービスの確保や育成）
- ・移住の受け入れる体制は地域の意識醸成と魅力発信が必要
- ・観光を通して、地域にどう関わりが持てるかが見出せてない



林業

- ・従事者の高齢化、深刻な人材不足（成り手がない）
- ・海外輸入材との価格競争力が低下し経済的に不安定である
- ・森林の維持管理に莫大なコストが掛かり放置になりがち



- ・観光・交流・地域参加・学びを通じた持続的な地域循環モデルの構築
 - ・洞爺湖町の未来に人の流れと関わりの流れを生み出す
 - ・“第2のふるさと”として関係人口を創出



係を絆、持続的な来訪・交流を促進する取り組みです。

〈お問い合わせ〉
090-1380-6287
daigo.watanabe1048@gmail.com

主株運営会社：株式会社渡辺精機企画
代表取締役：渡辺 大樹
<https://watanabe-packing.com/company>

— 1 —



SNS × ストーリーブランディング（森の日常、人の声）

→Facebook、Instagram、公式LINE

コラボ誘客

→生活の木のハーブティー、地元カフェ、焼き菓子職人、講師を招いての講座

トーヤの森 OPENDAY 每月1回開催

<集客について> 主に2パターンの方が居ます。（第2のふるさとづくりを前提）

1.林業に興味がある方（生業を主に考え、視察に来る）

2.自然が好き方（空間、環境、生活、居住地域を見る方）



トーヤの森公式LINEをフォローしてもらうと、初回来訪1回
無料クーポンの配布をしています。



- ・「森のパスポート（年間パス）」制度
→ 5,000円
- ・月に一度開催のトーヤの森OPENDAYの情報発信をSNSにて行う
- ・公式LINEオープンチャットで情報共有・交流促進



 OPEN DAY

日時：9月7日(日) 6:00~15:00
前日入りは要相談で可
料金：日帰り2,000円 前日入り3,000円
高校生まで無料、大学生は1,000円
(お支払いは当日現金のみ)

当日は山主 渡辺大悟と犬(ノア君)が入林していますので
おひとりでゆったり、
お仲間と湖遊びでも自由にお過ごしください。


@FOREST_IN_TOYA

・運営主体

→洞爺湖町 × 地元企業 × 協力パートナー

- ・地元クリエイター・事業者の参画（焼き菓子・アロマ・クラフト等）、
ネイチャーガイド



ZERODAY
ブッシュクラフト講座
-最低限の道具で技術と知恵を学ぶ1日-

10/26 SUN

動物モードになろう
 • トンネルビジョンとワイドアングルビジョン
 • 食うか食われるか！？自然の中でのものの見方
 • 感覚的瞑想 - ネイティブアメリカンに五感という概念はない

森に慣れよう
 ネイチャーゲーム - 木の個性を感じてみよう
 道迷いしない歩き方 - 森の景色は個性豈か

森で過ごそう
 • ナイフの安全な使い方
 • 森での焚き木の見つけ方、火の壇し方、片付け方
 • 焚き火で原始のパン「バノック」を焼いてみよう

講師：細畠昌志
 HIIRAGI OUTFITTERS代表 / Japan Bushcraft School認定
 ブッシュクラフトインストラクター

場所：トーヤの森（洞爺湖北岸）
 時間：10:00集合-16:00解散（予定）
 参加費：1,000円（保険料込み）+ フォレストチャージ2,000円※
 ※トーヤの森公式LINEお友達登録でフォレストチャージ無料
 申し込み・問い合わせ：ZERODAY



お山のイラストレーター
平田美紗子氏
～【トーヤの森】ロゴイラスト～

何度も来訪を重ね出来上がってく
森の道と小さなコミュニティ、
この森の魅力を詰め込んでいます



2026年度 初夏事業開始予定
in トーヤの森

～トレーラーハウス宿泊～
ワーケーション・企業研修・リトリート・森林
事業をトーヤの森でもっと身近に

自然との触れ合いアクティビティ

自然共生サイトの登録を目指し、自然環境のデータ化を行います。

地場産業との連携

ふるさと納税（企業版）（一般向け）共に商品としての形を作り、地域への還元を行う。

移住者や就労を促す環境整備

トレーラーハウスなどハード面の整備を実施し、民泊業・ワーケーション・ガイドなどの一つの拠点づくりを行う。



1 新たな第2のふるさと

洞爺湖町でしか体験できない自然を舞台にした研修や交流で何度も来訪できる場所を作ります。

2 雇用創出と移住促進

唯一無二の体験型観光で地域産業を活性化し、地域雇用が生まれ安心して移住できる環境を創出します。

3 企業体験型観光への対応

企業のニーズにマッチした柔軟な対応を心掛け、企業が環境意識が高まる自然を活用した体験型観光や研修を行います。親子で休暇を取り校外学習を行うラーニングも導入を検討します。

4 持続可能な環境保全林業

自然と人との共存（＝調和を楽しむ）
自然のことを考えた林業分野における活性化を促進します。



地域名 北海道十勝郡浦幌町
事業者名 一般社団法人十勝うらほろ樂舎



<うらほろアカデメイア2.0>



十勝うらほろ樂舎

第2のふるさと

A NEW HOMETOWN

次世代につながる地域社会のモデルをつくる

【基盤を育む】

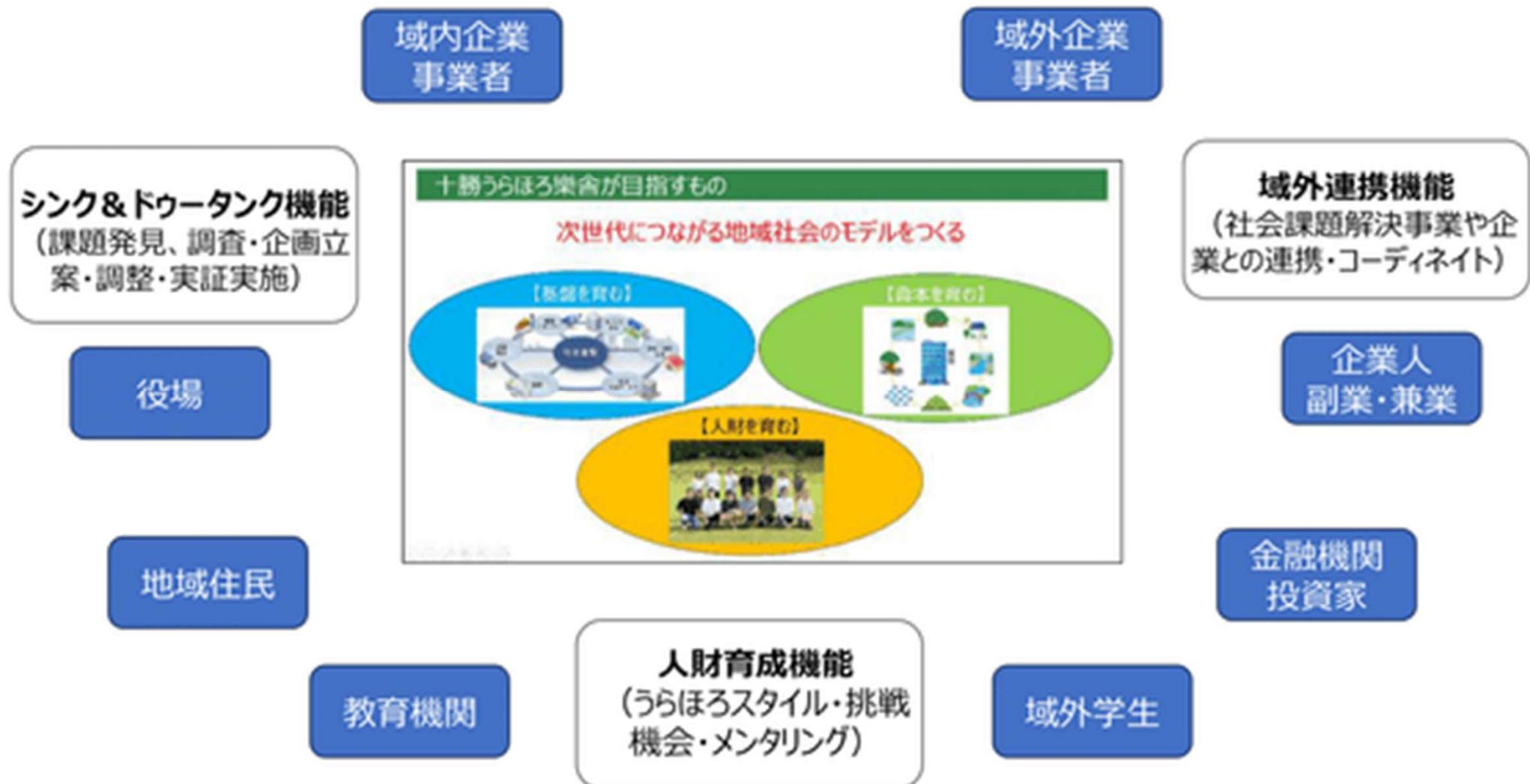


【資本を育む】



【人財を育む】





- A.特定企業2社のニーズに応えたモニターツアーの実施
- B.更なる連携先確保に向けた「うらほろアカデメイア」の改良と実施
- C.獲得する連携先へのモニターツアーの実施
- D.関わりを可視化するコミュニケーションツールの作成

答えのない矛盾から、
仕事・会社・生き方を自ら再定義する。



仕事の
意味付け

会社の
方向性

未来への
眼差し

PROGRAM**1日目****「命と経済」**

五感を使い探求する、農業や酪農の現場でのフィールドワーク。

2日目**「理想と現実」**

農業・まちづくりの現場で活躍する挑戦者との対話と探求。

3日目**「今と未来」**

林業・まちづくりの現場で活躍する挑戦者との対話。そして、自身の価値を問い合わせし今後の生き方を語る。

ABOUT**五感を刺激する自然**

都会とは異なる非日常の自然・食文化の環境に身を置き、五感を研ぎ澄まし自然型思考に触れる

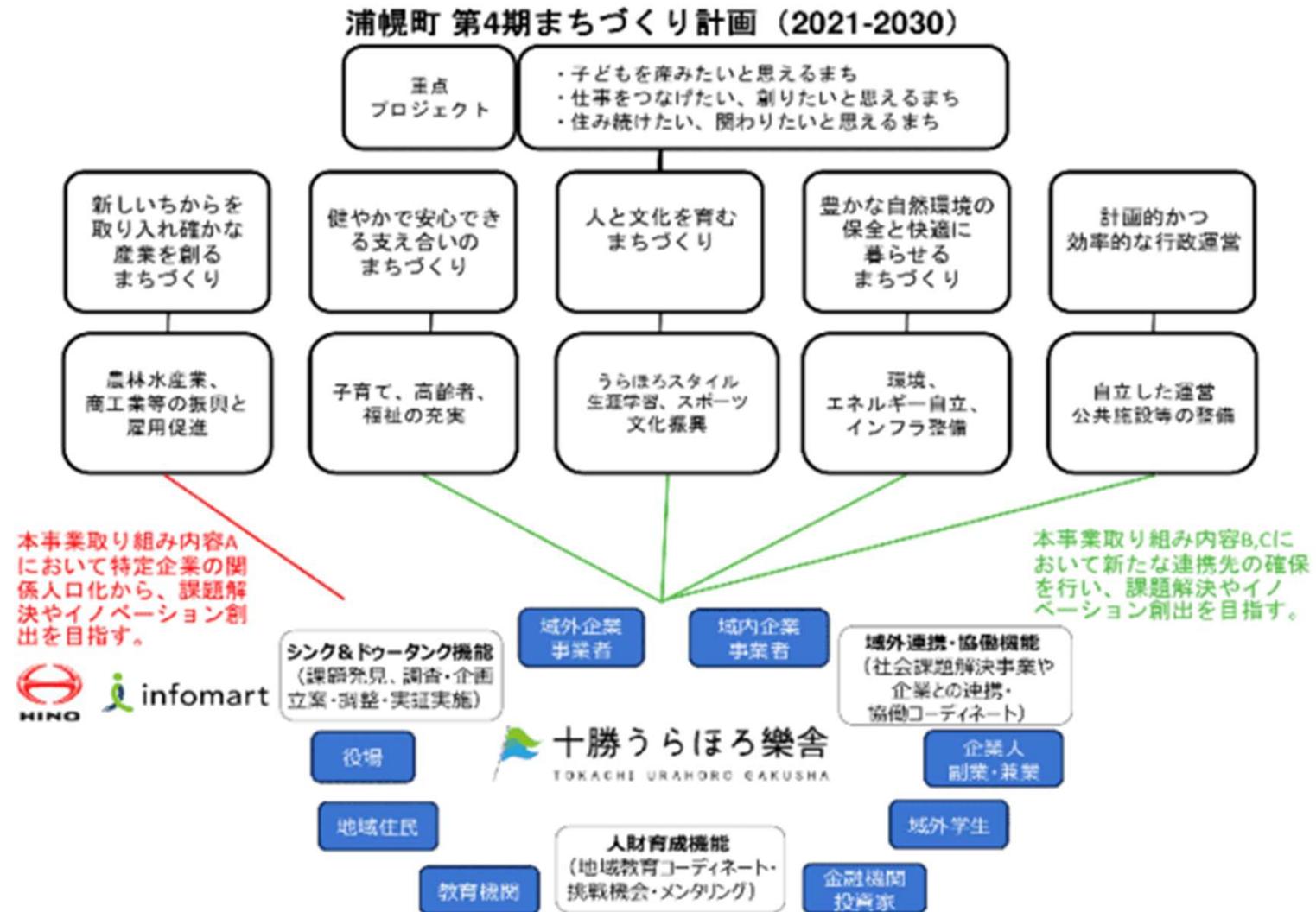
**課題先進地域
うらほろが舞台**

課題に対して都市部からの企業人と地域住民の協働で挑戦し続ける浦幌町。官民学が全面協力で、まち全体が学びの場となる。

**プロのサポートのもと
問い合わせに向きあう**

HRや学びのプロフェッショナルと元アスリートが併走を行い、より深い問い合わせをたてることをサポート





企業の関わり創出については、自治体の具体的な課題やプロジェクトが先行し、それと企業ニーズや課題を繋げる形で創出を目指し取り組む。



Enriching lives and the world



みんなが知ってるあのサービス。実はゆめみが作っています。



2023年11月から10回開催し合計96名、うち2025年は5回実施し合計48名の参加。
この他にも、住宅・電子機器・飲料・メディア・ITなど様々な業界から、
大企業からスタートアップまで幅広くご参加いただいております。

- ①アカデメイアメンバー・参画専門家によるトップセールス
- ②参加企業の常連化による継続参加、口コミによる参加
- ③2025年に初めてCHRO会を開催、HR界隈での認知を獲得を目指す
今後も継続実施する。また、HR界隈での認知獲得に向けたイベント等も検討している。



新潟県南魚沼市、湯沢町、魚沼市、十日町市、津南町、長野県栄村、群馬県みなかみ町
一般社団法人 雪国観光圏



帰る旅 地域ビジネス人材クリエイターズCAMP 今期進捗の共有



第2のふるさと
A NEW HOMETOWN

地域との関係性を育み活かす、自律型・地域イノベーション人材を創出
雪国発 越境学習プログラム

帰る旅 地域ビジネス人材クリエイターズCAMP

本プログラムは
「地域との共創からイノベーション」
を実現するための実践的な研修です。

●対地域・対ユーザーとの
「関係性づくり・場づくり」
(コーチング・ファシリテーション)

●地域を巻き込み、アイデアを実現する
「プロジェクトマネジメント」
「地域ブランディング」

「帰る旅」プロジェクトで培った独自メソッドを
凝縮。

「地域との共創」によってイノベーションを起こし、事業開発・課題解決を目指すビジネス人材の
スキル向上を支援します。



【受講対象人材のイメージ】
自地域内の企業・自治体等に寄り添い、
経営層・リーダー層を巻き込みながら
"地域内共創"を行い、
事業ミッション・事業課題を解決したい
企業人材・自治体人材のみなさま 等

地域との関係性を育み活かす、自律型・地域イノベーション人材を創出
雪国発 越境学習プログラム

帰る旅 地域ビジネス人材クリエイターズCAMP

地域と共に創する
巻き込み力

「帰る旅」独自メソッドで、関係性構築、場づくり、プロジェクトマネジメントのスキルを習得

自己成長実感と
解決アイデアの発掘

ホームを離れたアウェイの環境で自己成長を
加速、ソリューションに繋がるアイデアの発
掘を支援

多様な講師陣 +
地域リーダー人材
が支援

企業研修のプロフェッショナル講師に加え、
雪国観光圏、じゃらんリサーチセンター、帰
る旅研究会が応援

※「帰る旅研究会」は新潟県内の宿泊業・福祉業等の経営・リーダー層、行政・観光協会職員、起業人材など約20名が所属する多業種多職種の集団。地域・旅行者との接点づくり～関係人口創出まで行う企画を各自が運営しています。

地域との関係性を育み活かす、自律型・地域イノベーション人材を創出
雪国発 越境学習プログラム

帰る旅 地域ビジネス人材クリエイターズCAMP

■実施スケジュール

- ・10月3日（金）18:00頃～21:00頃@オンライン
参加者合同キックオフ・事前説明会（概要説明・参加メンバー紹介）
 - ・10月28日（火）～30日（木）現地研修①「研修プログラム」（2泊3日）
@新潟県南魚沼市ryugon（別邸安穏亭）
履修科目：コーチング／ファシリテーション／プロジェクトマネジメント／地域プランディング
 - ・11月20日（木）～21日（金）現地研修②「成果発表会」（1泊2日）
@新潟県南魚沼市ryugon（別邸安穏亭）
- + 11月上旬～中旬（参加者ごとに個別設定）：個別メンター相談会
@オンライン（or希望者は新潟県内で対面もOK）
担当メンターが不明点や成果発表会準備をサポート、現地研修①内で担当メンターと日程を調整します

■オプション企画（費用別途・12～1月を予定）

本プログラムで繋がった地域の皆さんと、さらにつながりを深め
知見を得たい方々向けの「地域しごと＆地域のくらし疑似体験イベント企画」を開催

※今期参加者予定：12名（金融機関5名／民間企業2名／自治体・外郭団体3名／起業人材2名）

地域との関係性を育み活かす、自律型・地域イノベーション人材を創出
雪国発 越境学習プログラム

帰る旅 地域ビジネス人材クリエイターズCAMP

①集客について

- ・今期：立ち上げのため、クライアントリストはなく、内部組織メンバーが関係性のある企業・団体へのアプローチや、SNS等での広報活動を主に実施。
- ・来期：実証実験したプログラム内容の提供価値が、「どのような企業・団体や人材（職種・職歴など）に適しているのか」を、改めて振り返り・検討しながら、クライアント候補の選定を行いたい意向。数社の企業ヒアリングにもうかがう予定。

②再来訪につなげる施策

→「関係性深化の機会」を複数設置、

ただし現状取り組み中のため効果があるかは検証できていない。

- ・研修プログラム内のメンター役が経営する企業、地域内の取り組みを**視察**。
- ・初回来訪→再来訪までの期間に、関係性を深めるための**個別面談会**を実施。
(WEB会議orリアルで会合)
- ・参加者とメンター陣とのコミュニケーション用に**LINEオープンチャット**の開設。
- ・プログラムの終了後に、再々来訪につながる**オプション企画**を計画。
(任意参加、11～1月実施)

長野県千曲川流域/しなの鉄道沿線地域
ワーケーションまちづくりラボ（株式会社ふろしきや）



<ワーケーション発!
広域”レボ系“プログラムを通した共創HUB>

'REVOLUTION' & 'WORKATION'

レボ系ワーケーション

第2のふるさと

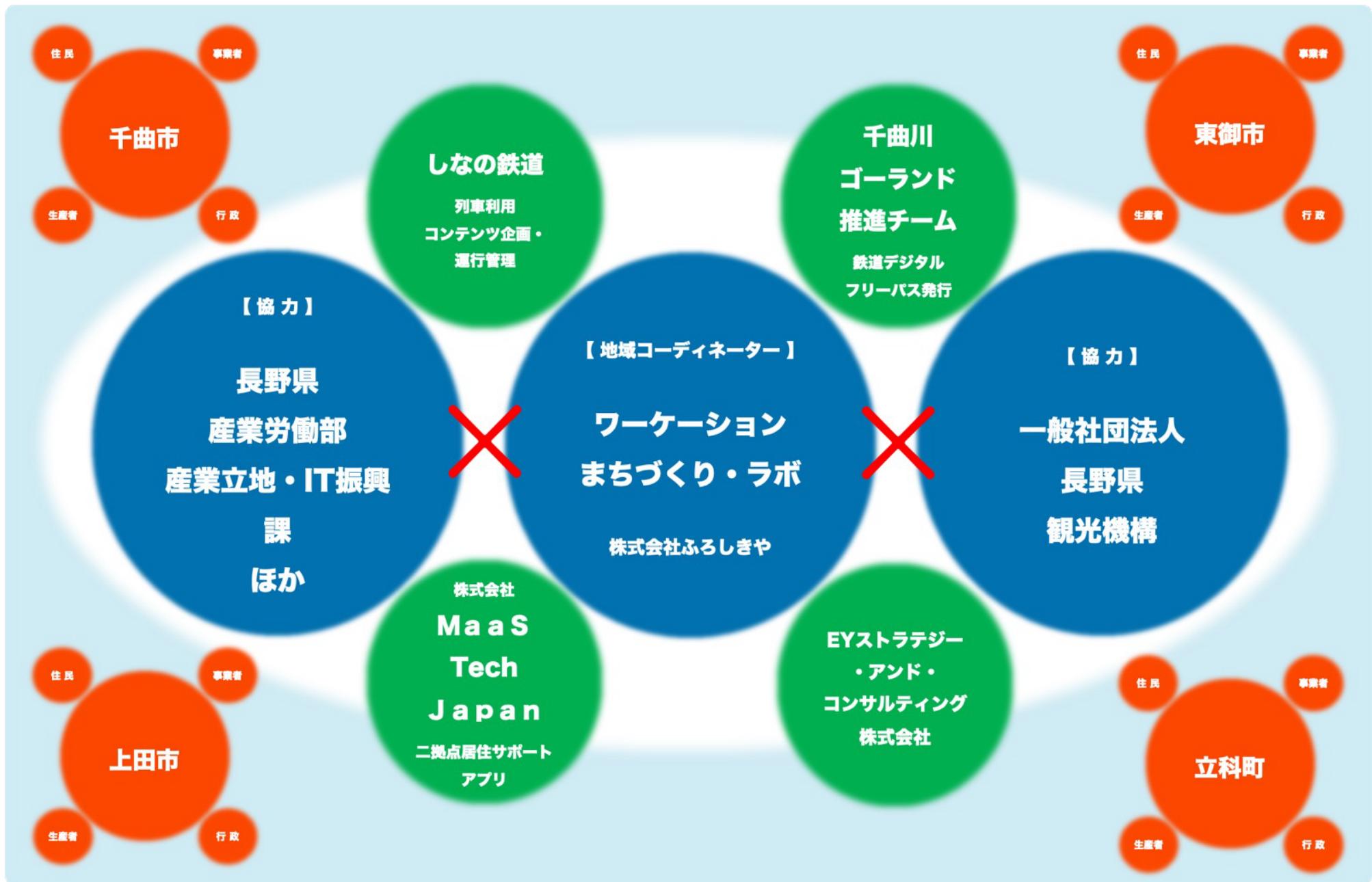
A NEW HOMETOWN

【 実施主体：ワーケーションまちづくりラボとは 】

「ワーケーションまちづくりラボ」は、2019年から【ワーケーションは可能性の入り口】と捉え、ワーケーションでの出会いを通じての様々なプロジェクトを行ってきました。これまで6年間で計18回のワーケーション・イベントを実施、600名を超える方に参加いただき、
企業と個人両方の人格で、豊かな出会いを演出してきました。









千曲川流域を舞台に、 企業の「ものがたり」を創る、 そして始める。

私たちは、全国発信や全国展開（海外展開も）を狙った
ソーシャルグッドな挑戦的かつ実験的な事業づくりに
千曲川流域の資源を使ってもらいたい。それが、

[レボ系アクセラレーションプログラム]

※アクセラレーションとは「加速、促進、高速化」などを意味する言葉。
ビジネス分野では企業や事業の成長を短期間で促進する取り組みを指します。



プレゼン力・共感力

自社や自身の強みや未来への可能性を言葉にする場を設け、関係性構築を加速します。

没入力・妄想力

フィールドワーク形式で地域資源を案内し、地域のキーマンともディスカッションできます。

説得力・実現力

ハッカソン形式の構想合宿を実施。実行前提で構想/計画/ファーストステップを明確化します。

自社の事業を地域創生に活用して、
社会貢献に役立てたい。

CSR活動に偏りすぎず、
事業KPIで語れる
地域連携がしたい。

活用できる資源を
もっと大きく捉えて、
スケールの大きな事業を
思い描いていきたい。

社会にベクトルが向いている自治体や団体との
連携を前提とした出会いを求めている。

地域での継続可能なビジネスモデルを、
地域の人ともに構築したい。

広報手段：これまでのワーケーション来訪者のネットワーク、
長野県信州リゾートテレワーク、長野県観光機構公式SNS、
長野県県人会コミュニティなどに連絡。

現在の進捗：これまでのワーケーション同様、すでにこの地域に来訪した
信頼が集まる人の後押ししがあった人がプログラムに参加
→少ない人数でも企業や仲間のネットワークがある人を迎えてプログラムを磨く



プレゼン力・共感力

自社や自身の強みや未来への可能性を言葉にする場を設け、関係性構築を加速します。

没入力・妄想力

フィールドワーク形式で地域資源を案内し、地域のキーマンともディスカッションできます。

説得力・実現力

ハッカソン形式の構想合宿を実施。実行前提で構想/計画/ファーストステップを明確化します。

企業視点での段階と目的の設定し、時間的効率や成果をわかりやすく



短時間での演出：同じ経験を共有し、相手を知り、自分を曝(さら)け出す



短時間での演出：自分のこと、仕事のこと、仕掛けたいことを話す場を何度も設ける

地域名 三重県大台町
事業者名 大台町子どもプロジェクト推進協議会



<「ラーケーションの日」とワーケーション連携による第2のふるさとづくり>



第2のふるさと

A NEW HOMETOWN

1. 多くの人が育つ場として役立ちたい！

- ・大台町25年の体験学習/ボランティア実績
- ・若い世代の自然・地域経験不足への憂慮
- ・日本の文化や地域が滅びる危機意識

2. 地域維持に第2の担い手を！（関係人口）

- ・労働者がおらず地域の維持がもう無理
- ・関係人口でもいいから手伝って欲しい
- ・地域には人を一人前にするすごい教育効果

3. 交付金急減の代替にふるさと住民登録？

トヨタ自動車（株）様対象に事業実施

1. 「ラーニングの日」で家族が自分が会社が変わる

子どもの成長+家族も自分も成長→仕事へのモチベーション上昇→新しい視点+α→1人でなく会社全体大きな波→全く新しい何か (デジタル改革推進室)

2. ワークライフバランス

仕事と私生活両方へのチャレンジを応援するため多様な機会を提供 (労働組合)

3. トヨタ三重宮川山林（社有林）

社内で知名度を高めたい (社会貢献部)

本事業と大変親和性が高いとの評価

1. 11月28日～1月26日まで6回の金土日月

- ・日帰り、1泊2日、2泊3日選べる体験活動を準備
- ・いつ来ていつ帰っても良い

2. 集客

トヨタ自動車（株）とトヨタ自動車労働組合の皆様

3. 再来訪の施策

(1) リピート来訪には価格の安さ

①宿泊：大杉谷地域総合センターを開放：無料宿泊ができ議論を深める場(コモンズ) としたい。

②有料体験と無料のボランティア体験

(2) 社有林をアセットとして有効活用 ※次年度以降

(3) どれだけ思索が深められるか ※教育ファシリテーター

地域名 島根県隠岐郡
事業者名 海士町



離島医療の魅力化による 関係人口拡大PJ



第2のふるさと

A NEW HOMETOWN

事業概要

本事業では、海士町とすでにかかわりを持ち離島医療のために派遣を実施しているような医療関連法人のネットワークを対象に実施する。

- ①医療人材を対象に離島医療会議のようなへき地医療の現状や課題を学ぶ研修機会の提供
- ②観光協会等と連携し離島の自然や文化に触れることで心身を整える観光体験の提供
- ③診療所における代理診療を行うことでへき地医療に実際に携わる機会の提供、これらを組み合わせる（医師のワーケーションとしてパッケージ化する）ことで、医療人材や医療関連法人と海士町との関係性を高め、持続的な医療関係者の還流を促すことで、観光振興と持続可能で安心・安全な離島医療環境の充実との両立を目指すものである。

事業概要

想いのある医師にアプローチ

離島医療の現状・課題を学ぶ機会
(研修・離島医療会議等)

関係人口である医師のワーケーション

離島の自然・文化を感じる機会
(観光・宿泊)

離島の診療所で実際に働く機会
(代理診察等)

観光でお金を"使う"
【消費で地域に貢献】

働くことでお金を"稼ぐ"
【仕事で地域に貢献】



海士町公式アンバサダー制度や離島医療会議を通して関係性を継続

事業概要



風と土とについて 事業内容 会社概要 メンバー 還流者登録

共に風土をつくる
土の人＝地元が
風の人＝よそ者と、



離島のいまを知り、未来をつくる

離島医療会議

2025年3月8日(土) 14時～17時30分

Zoomウェビナー



課題

①集客について

離島・海士町の航路という条件不利な場所であるから、移動日に1.5日取られてしまい、2泊3日の行程では島内の状況を見ていただく、また、労働時間でいっぱいとなってしまい、ワーケンションの時間を十分にとることができない。3泊4日の行程であれば、島内の観光地を一人で見て回り、ゆっくりすることができるが、医療従事者で週末以外でなかなか来島の時間を持つことが難しい。

さらに、勤務医との調整、移動時間を考えるとモニターツアーを月1回実施することで精一杯な状況であり、代診が必要な時期も冬場に、中長期なことや夏～秋は観光シーズンとかぶっていることもあり、島内の宿の供給バランスとの調整が必要であることから、今後に向けて検討していくことが必要である。

課題

②再来訪につなげる施策について

これまでの取組を通して、個人の医療従事者が多く、リピーターとして再来訪につなげてきている。今後、持続的な体制を構築するために民間と連携した体制作りが必要。今回の事業のおかげでその体制づくりを図ることができた。さらに、町としてアンバサダー制度という寄附、投資による町の事業支援、つながりを持つことができていることから、DXの活用(電子通貨によるふるさと納税支援、流用、情報発信)による再来訪に向けた仕掛けを続けていく。

地域名：香川県仲多度郡琴平町

事業者名：株式会社地方創生



「観光まちづくり」で企業のミライを
コトひらく町・琴平

地方創生

第2のふるさと

A NEW HOMETOWN

1 事業目的

地域の主力産業である「観光まちづくり」を軸に、企業との交流・共創を促し、継続的な関与を可能にする「企業の関係人口化モデル」の創出を目指す。

2 ターゲット像

琴平町のビジョンに共感し、「観光」分野への取り組みや、新規事業・イノベ人材育成に注力したい企業層を対象とする。

3 主要KPI

プログラム参加企業数
・5社以上
宿泊事業者の収入増加100人泊以上
・参加者の再来訪意向度90%以上を目標とする。

今年度の取組状況

カヤック、Arinos、関西電力など、多様なニーズを持つ5テーマ/5社のプログラム具体化と来訪の方針が決まっている。

- **新規事業実証モデル**

カヤックとは「音声街歩きガイド」や「地域企業の採用支援」の実証をに開始。

ArinosとはCVCを活用した地域事業の成長モデルの検証を決定。

- **人材育成 / 組織開発モデル**

関西電力と、社員の心理的安全性の高い場づくりを重視し、

リトリート型研修を共同で開発中。

- **地域共創モデル**

企業が地域課題（竹林問題など）の解決に参画する「関わりしろ」として、
竹あかりイベントを共同プロジェクトとして実行。

集客戦略（ターゲットと販路）

関西圏（大阪）を重点ターゲットとし、11月26日にNTT西日本が運営するオープンイノベーション施設「QUINTBRIDGE（大阪市都島区）」でプロモーションイベントを開催し、次年度以降の販路確保を目指す。

訴求する価値の明確化

「現場の手触り」「文化と事業の交わり」「越境の刺激」といったキーワードで、実証の場や挑戦機会を求める新規事業、人事、CSR担当者へ訴求している。



移動コストの削減

反復継続的な来訪を促すため、**大阪-琴平間の高速バスと地域内交通「琴平mobi」の使い放題サブスクチケットを開発し、利用促進を図る。**

関係性深化コンテンツ

再来訪につながる愛着を醸成するため、琴平町（行政）、**地域の歴史・文化を伝える語り部（五人百姓 池氏）**など、町のキーマンとの深い意見交換機会を提供している。

旅アトのフォローアップ

来訪者全員にアンケートを実施し、企業担当者とのオンラインMTGを通じて、継続的な関係構築に向けたネクストアクションを設定する。

地域名 石川県七尾市・輪島市
事業者名 株式会社JTB金沢支店



「能登半島地震復興ワーケーション」 (関係人口から行動人口へ)

中間報告



第2のふるさと
A NEW HOMETOWN

【事業概要】

事業名：「能登半島地震復興ワーケーション」

目的：震災復興支援と地域活性化を両立する企業連携型ワーケーション

対象地域：石川県七尾市・輪島市

主催：JTB金沢支店

→企業が能登の復興に関わるきっかけをつくる、
視察・講話・ガイド体験を通じた参加型プログラムを実施



【集客の工夫】

- ・JTB法人顧客向けセールス（JTBビジネスソリューション事業部中心に大手企業へのセールス実施）
 - ・テレワークワーケーション官民推進協議会との連携（会員数314社）
 - ・ANAとの連携での情報発信
 - ・当プログラムのランディングページ制作（下記参照）

＜ランディングページ＞

NOTO WORKCATION

能登植栽ワーケーション

あなたの仕事が、能登の未来をつくる力になる。

<note (事業の記事を掲載)>



【集客】

<確定・実施> 約70名

- ・9/30-1 三井物産株式会社様（輪島・七尾 12名）
- ・11/1 株式会社竹中製作所（七尾 30名）
- ・11/6 株式会社日本科学技術研修所（七尾 10名）
- ・11/14 テレワーク・ワーケーション官民協議会（七尾 20名）

<問い合わせ>

- ・3月 大手メーカー労働組合（100名）
- ・4月 大手不動産会社新入社員研修（30名）



【再来訪につなげる工夫】

プログラム内容・またガイド、講師からの説明において

「能登に関心を持ちつづけてほしい」「企業として関わることは?」を考える内容にしております。

そのうえで、下記工夫により再来訪につなげる「つながり」の構築を検討しております。

- ・noteやSNSで企業体験記事を発信
- ・オンライン報告会・交流会（30分程度）
- ・復興状況や次回プログラムを共有TeamsやZoomで簡単開催

